

三溪放課後児童クラブ新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

# 宮ノ浦遺跡

(第2次調査)

2021年3月

高松市教育委員会

## 例　　言

1. 本報告書は、三渓放課後児童クラブ新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書であり、高松市三谷町に所在する宮ノ浦遺跡第2次調査の報告を収録した。
2. 発掘調査地及び調査期間、調査面積は下記のとおりである。  
調査地：高松市三谷町字平石東 2275 番1 の一部、2276 番の一部  
調査期間：平成30年3月9日～3月29日  
調査面積：約 311 m<sup>2</sup>
3. 発掘調査は、高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部文化財課文化財専門員 梶原慎司及び同課非常勤嘱託職員 三輪 望が担当し、整理作業は梶原が担当した。
4. 本報告書の執筆及び編集は梶原が担当した。
5. 本報告書の高度値は海拔高を表し、方位は座標北を表す。
6. 遺構断面の注記の色調及び土器観察表の色調は、小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖36版』を参照した。
7. 本報告書の挿図として、高松市都市計画図 10,000 分の 1 「No. 8」を一部改変して使用した。
8. 発掘調査で得られた全ての資料は、高松市教育委員会で保管している。

## 目 次

<b>第Ⅰ章 調査の経緯と経過</b>	
第1節 調査の経緯.....	1
第2節 試掘調査の結果.....	2
第3節 調査の経過.....	2
<b>第Ⅱ章 地理的・歴史的環境</b>	
第1節 地理的環境.....	3
第2節 歴史的環境.....	4
<b>第Ⅲ章 調査の成果</b>	
第1節 調査方法.....	9
第2節 基本層序.....	9
第3節 遺構・遺物.....	9
第4節 まとめ.....	33

## 挿 図 目 次

第1図 調査区位置図 (S=1/1,000) .....	1	第16図 SD01 出土遺物 9 (壺) (S=1/4) ...	21
第2図 試掘調査トレーニング配置図 (S=1/1,000) .....	2	第17図 SD01 出土遺物 10 (壺・鉢) (S=1/4) .....	22
第3図 高松平野と遺跡の位置 .....	3	第18図 SD01 出土遺物 11 (高杯) (S=1/4) .....	23
第4図 周辺の主要遺跡分布図 (S=1/10,000) .....	5	第19図 SD01 出土遺物 12 (瓶・底部) (S=1/4) .....	24
第5図 遺構配置図 (S=1/200) .....	8	第20図 SD01 出土遺物 13 (底部) (S=1/4) .....	25
第6図 壁面土層図 (S=1/50) .....	10	第21図 SD01 出土遺物 14 (底部・その他) (S=1/4、1/2) .....	26
第7図 SD01 平・断面図 (S=1/100・S=1/40) .....	12	第22図 谷地形出土遺物 (S=1/4) .....	27
第8図 SD01 出土遺物 1 (甕) (S=1/4) .....	13	第23図 SD02、03 平・断面図 (S=1/40) .....	28
第9図 SD01 出土遺物 2 (甕) (S=1/4) .....	14	第24図 SD04 平・断面図 (S=1/40) .....	29
第10図 SD01 出土遺物 3 (甕) (S=1/4) .....	15	第25図 SK01 ~ 03 平・断面図 (S=1/40) .....	29
第11図 SD01 出土遺物 4 (甕) (S=1/4) .....	16	第26図 SD05 ~ 09 平・断面図 (S=1/40) .....	31
第12図 SD01 出土遺物 5 (甕) (S=1/4) .....	17	第27図 SD10 ~ 11 平・断面図 (S=1/50・1/40) .....	32
第13図 SD01 出土遺物 6 (甕) (S=1/4) .....	18		
第14図 SD01 出土遺物 7 (甕) (S=1/4) .....	19		
第15図 SD01 出土遺物 8 (壺) (S=1/4) .....	20		

## 挿 表 目 次

第1表	土器観察表(1) .....	34	第8表	土器観察表(8) .....	41
第2表	土器観察表(2) .....	35	第9表	土器観察表(9) .....	42
第3表	土器観察表(3) .....	36	第10表	土器観察表(10) .....	43
第4表	土器観察表(4) .....	37	第11表	土器観察表(11) .....	44
第5表	土器観察表(5) .....	38	第12表	石器観察表 .....	45
第6表	土器観察表(6) .....	39			
第7表	土器観察表(7) .....	40			

## 写 真 図 版 目 次

図版1	調査区全景(南西から)		図版5	SD01 出土遺物1(甕)	
図版2	SD01断面(オルソ画像)		SD01	出土遺物2(甕)	
図版3	SD01完掘状況(南から)		SD01	出土遺物3(甕)	
	SD01完掘状況(西から)		SD01	出土遺物4(壺)	
	SD01土器出土状況		図版6	SD01出土遺物5(壺)	
図版4	SD02完掘状況		SD01	出土遺物6(鉢)	
	SD02断面(北から)		SD01	出土遺物7(高杯)	
	SD02断面(東から)		SD01	出土遺物8(瓶)	
	SD02(斯ち割り)		図版7	SD01出土遺物9(底部)	
	SD03完掘状況		SD01	出土遺物10(その他)	
	SK01完掘状況			谷地形出土遺物	
	SK02断面		SD01	出土遺物11(壺)	
	SK03断面			口縁部外面にタタキ痕が残る甕	

# 第Ⅰ章 調査の経緯と経過

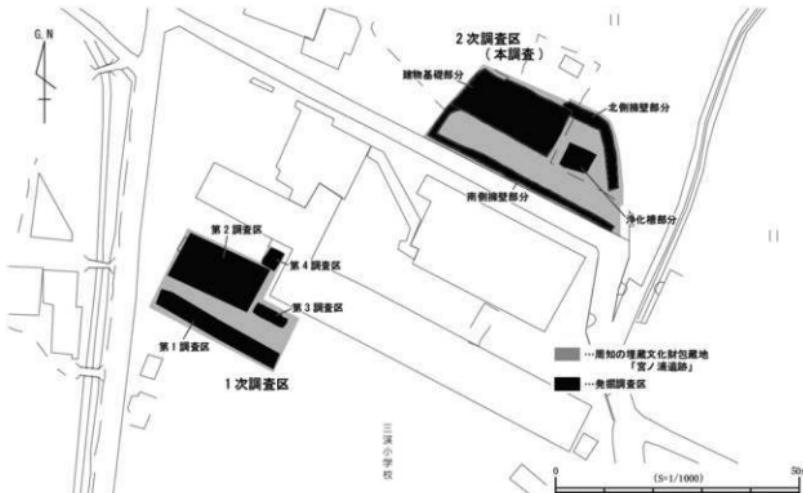
## 第1節 調査の経緯

本発掘調査報告書は、高松市健康福祉局子育て支援課（以下、事業課とする）が事業主体である、三溪放課後児童クラブ建設事業を調査原因としたものである。

対象地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「宮ノ浦遺跡」の隣接地であったため、高松市教育委員会（以下、市教委とする）と事業課の協議の結果、平成29年11月22日に試掘調査を実施した。試掘調査の結果、多量の弥生土器が出土する溝とピットを確認したことから、対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地「宮ノ浦遺跡」の範囲に追加登録された。

発掘調査については、事業課と市教委との協議の上、工事計画に合わせて高松市長から香川県教育委員会（以下、県教委とする）へ文化財保護法第94条第1項の規定による埋蔵文化財発掘通知を平成30年2月14日付けで提出したところ、同年2月28日付けで県教委から工事着手前に発掘調査を実施する旨の通知があった。これを受け、市教委は事業課と協議を行い、平成30年3月9日付けで文化財保護法第99条第1項の規定による報告を県教委に提出し、擁壁部分と建物基礎部分について記録保存を目的とした発掘調査を実施したものである。ただし、浄化槽部分については面積が矮小で、発掘調査の段階で位置を確定していなかったため、工事立会で対応することとし、令和元年7月1日に工事立会を行った。

以上の調査により、三溪放課後児童クラブ建設事業における埋蔵文化財の包蔵状況の確認及び発掘調査は完了した。



第1図 調査区位置図 (S=1/1,000)

## 第2節 試掘調査の結果

事業課から依頼を受け、平成 29 年 11 月 22 日に試掘調査を実施した。調査では、2 本のトレーニチを設定した。1 トレーニチは  $21.8\text{ m} \times 2\text{ m}$ 、2 トレーニチは  $18.9\text{ m} \times 1\text{ m}$  である。基本層序は、I 層が  $0.2\text{ m}$  の厚さで耕作土・床土、II 層が  $0.1\text{ m}$  の厚さで黄褐色粗砂～中粒砂、III 層が  $0.1\text{ m}$  の厚さで灰黄褐色中粒砂～細砂混じりシルト、IV 層が黒褐色細砂～シルト層である。遺構面は IV 層上面で、現地表面から約  $0.4\text{ m}$  の深さである。遺構は、弥生時代後期の溝が数条検出された。特に、SD 01（報文）の溝からは多量の土器が出土した。

試掘調査の結果、埋蔵文化財の存在が確認できることから対象地を周知の埋蔵文化財包蔵地「宮ノ浦遺跡」に追加登録した。



第2図 試掘調査トレーニチ配置図  
(S=1/1,000)

## 第3節 調査の経過

対象地は三溪小学校の隣接地にあたり、隣接する道路は児童の通学路であったため、対象地の道路側を安全柵で囲い、調査を行った。発掘調査は平成 30 年 3 月 9 日から開始し、3 月 29 日に終了した。調査は擁壁部分から開始し、続いて建物基礎部分を行った。調査期間は北側擁壁部分が 3 月 9 日～14 日、南側擁壁部分が 3 月 10 日～28 日、建物基礎部分が 3 月 10 日～28 日である。調査の主な工程は以下の通りである。

- |           |   |
|-----------|---|
| 3月2日～3日   | コンテナ等の搬入、安全柵の設置。  |
| 3月9日～10日  | 擁壁部分の重機掘削並びに遺構検出。建物基礎部分西側の重機掘削。                           |
| 3月11日     | SD02 の遺構掘削と完掘状況の撮影。                                       |
| 3月12日     | 北側擁壁部分の平面図・断面図作成と完掘状況の撮影。<br>南側擁壁部分の遺構掘削 (SD04～09)。       |
| 3月13日     | 南側擁壁部分東側の平面図・断面図作成と完掘状況の撮影。<br>建物基礎部分の遺構検出と搅乱の掘削。         |
| 3月14日     | 建物基礎部分東側の重機掘削。南側擁壁部分 SD01 の遺構掘削。                          |
| 3月15日～26日 | 建物基礎部分と南側擁壁部分 SD01 の遺構掘削。                                 |
| 3月27日     | SD01 の完掘状況の撮影。平面図・断面図の作成。                                 |
| 3月28日     | SD01 の続きが平面では確認できなかったため、重機で建物基礎部分西側を堀り下げて遺構検出並びに遺構掘削を行った。 |
| 3月29日     | 重機による埋戻し。   |

整理作業は令和 2 年 4 月 1 日から開始し、令和 3 年 3 月 10 日に終了した。

## 第Ⅱ章 地理的・歴史的環境

### 第1節 地理的環境

高松市は香川県の中央やや東寄りに位置し、市域の大部分は讃岐平野の一部を形成する高松平野が広がっている。高松平野は、讃岐山脈より流れ出た河川、主に香東川が運んだ土砂によって形成された沖積平野である。現在高松平野には、東から新川・春日川・詰田川・御坊川・石清尾山山塊を挟み香東川・本津川が北流しているが、中でも香東川が平野の形成に最も大きな影響を及ぼしている。現在の香東川は近世初頭に生駒家の家臣西鳴八兵衛によって改修されたものであり、かつては石清尾山山塊の南麓から平野中央部を東北流する主流路が存在していた。この旧流路は、現在では水田地帯及び市街地の地下に埋没しているが、空中写真等から、林から木太地区にかけての分ヶ池・下池・長池・大池・旧ガラ池を結ぶ旧河道が数条存在していたことが知られており、発掘調査でもその痕跡が確認されている。なお、17世紀の庵川直前の流路は、御坊川として今でもその名残りを留めている。

高松平野を流れる諸河川は、南の讃岐山脈から平野への流入口で穏やかな傾斜を持つ扇状地形の沖積平野を形成し、農耕に適した地味豊かな土壤をもたらしたが、諸河川の中流域は伏流し、表層は涸れ川になることが多く、早くからため池を築造して水不足を解消してきた。これらのため池は、年間1,000ミリ前後と降水量の乏しい讃岐平野において農業用水確保のために不可欠なものである。

今回発掘調査を行った宮ノ浦遺跡の周辺は、西に小日山と雨山を従えた日山、東に三谷八幡宮が鎮座する丘陵がそびえ、南には丘陵間の谷を堰き止めて築造された三谷三郎池が位置する。宮ノ浦遺跡は、丘陵間に挟まれた谷部の裾部、西から東へ下がっていく傾斜面の緩斜面上に立地している。標高は約27.5mである。



第3図 高松平野と遺跡の位置

## 第2節 歴史的環境

高松平野では大規模開発事業の事前調査により、遺跡数が飛躍的に増加した。しかしながら、今回の調査地周辺では県道中徳三谷高松線建設に伴う発掘調査のほか、公共工事に伴う発掘調査が数件行われている程度である。調査地周辺の動態を明らかにするためには発掘調査件数が少ないが、以下、周辺に所在する遺跡の概略を述べる。なお、宮ノ浦遺跡の調査に関しては、高松市立三溪小学校校舎増築工事に伴い高松市教委が行った調査を1次調査（高松市教委編 2015）、本調査を2次調査とする。

旧石器時代の遺跡としては、日山の西に所在する雨山の南麓に雨山南遺跡があり、瀬戸内技法による翼状剥片やチップ等の石器製作を示す資料が多量に採集されている（藤井 1983）。

縄文時代の遺構・遺物は調査地周辺ではみられない。

弥生時代に入ると、前期前半から遺構がみられるようになる。北野遺跡（10）では、前期前半と想定される水田跡と土坑が認められる。また、前期後半から前期末の土器が多量に出土した溝があり、近隣に集落があったことが窺える（香川県埋文センター編 2020）。中期になると遺跡数が減少し、調査地周辺で遺構は検出されていないが、三谷三郎池遺跡（23～26）では中期末から後期初頭の土器が表採され（乗松 2005）、通谷遺跡（22）では中期末の土器片が出土している（高松市教委編 1974）ことから、近隣に中期末から後期初頭の集落があったと想定される。

高松平野の他地域と同様に、後期後半になると遺跡が急増する。三谷中原遺跡（13）では、後期後半から古墳時代前期前半にかけての集落が確認された（香川県埋文センター編 2019）。特に、VII区SK02 出土遺物は後期後半の一括遺物として良好な資料である。古墳時代前期前半には堅穴建物や溝が認められ、流路から多量の土器が出土している。また、近隣の鎌野西遺跡（11）や宮ノ浦遺跡（1）では後期後半の溝が数条認められ（香川県埋文センター編 2020；高松市教委編 2015）、通谷遺跡（22）では後期後半の土器棺墓が7基確認されている。

古墳時代に入ると、調査地周辺でも古墳が築かれるようになる。その中でも、前期末に築造された三谷石舟古墳（19）は推定全長 88 m の前方後円墳で、当該期の讃岐では最大の前方後円墳である（高松市工芸高校郷土史研究会編 1992）。現在、後円部頂部には鷺ノ山石製の剝抜式石棺が露出している。三谷石舟古墳の近くには、時期不明の箱式石棺である石舟池1号石棺（18）が認められる。また、日山南麓では推定全長 28 m の前方後円墳である瘤山（小日山）1号墳（5）が築造される（香川考古刊行会編 2006）。

中期になると、高松平野全体で古墳の築造が減少し、調査地周辺でもその傾向を示す。中期前半には三谷三郎池西岸窯跡（27）で初期須恵器の窯跡がみつかっており、県内最古の須恵器窯として知られる（香川県教委 1984）。中期後半には全長 40 m の円墳である高野丸山古墳が築造される。発掘調査が行われていないため詳細は不明だが、2段築造で周濠をめぐらせていた可能性が高い。

後期には群集墳が築造されるようになり、古墳が急増する。日山の南には高松平野南部において最大規模の横穴式石室をもち、巨石墳として知られる矢野面古墳（7）（浜田 1997）や、未調査だが巨石が散乱する加摩羅神社古墳（8）がある。平石上古墳群（2）は日山東麓に営まれ



①：宮ノ浦遺跡（本調査区） 1：宮ノ浦遺跡 2：平石上古墳群 3：日山山頂跡・日山山頂古墳 4：横内東遺跡  
 5：細山（小日山）1号墳 6：細山（小日山）2号墳 7：矢野面古墳 8：加摩羅神社古墳 9：西三谷中遺跡  
 10：北野遺跡 11：鍾野西遺跡 12：旧南海道路 13：三谷中原遺跡 14：鍾野城跡 15：高野南1号墳 16：高野南2号墳  
 17：石舟池古墳群 18：石舟池1号石橋 19：三谷石舟古墳 20：三谷城跡 21：下代古墳 22：通谷遺跡  
 23～26：三谷三郎池遺跡A～D地区 27：三谷三郎池西岸窓跡

第4図 周辺の主要遺跡分布図 (S=1/10,000)

た横穴式石室を主体部にもつ群集墳で、6基の円墳で構成される（山本 2000、高松市教委編 2007）。発掘調査された平石上 2号墳からは、TK209 型式の須恵器が出土しており、7世紀第1四半期を中心とする築造時期が想定される。日山周辺には、6世紀後半から7世紀の古墳が多数築造されており、日山の西に所在する雨山山麓には、**雨山南古墳群**と**北山古墳群**がある。**雨山南古墳群**は13基の古墳からなり、発掘調査された3号墳からはTK46 型式の須恵器が出土しており、7世紀第3四半期に築造時期が想定される（高松市教委編 2005）。**北山古墳群**は3基の古墳からなる古墳群で、雨山南古墳群と同時期に形成されており、雨山南古墳群の一支群とも想定される。石舟池北東堤防には**石舟池古墳群**（17）があり、11基の古墳で構成される（高松市教委編 2007）。全ての古墳が発掘調査されたが、ほとんど横穴式石室の基底部しか残存しておらず、詳細な規模は不明だが、直径10m以下の小型円墳によって構成されていたと考えられる。TK43 型式～TK209 型式の須恵器が出土したことから、6世紀第4四半期から7世紀第1四半期にかけて築造された古墳群であると想定される。**三谷三郎池遺跡**（23～26）では7世紀の土器が表採されており、近隣に集落があったと想定される。

古代には、高松平野ではN9～11°E方向の条里地割が広がり、調査地周辺では官道である**南海道**（12）が横断する。**三谷中原遺跡**（13）では、条里地割に沿う溝が確認され、古代の遺物が出土している。そのため、古代には調査地周辺でも条里地割が施工されていたと想定される。また、寺院も建設されるようになり、**高野庵寺**では奈良時代から平安時代の瓦や江戸時代に転用された礎石が確認されている。

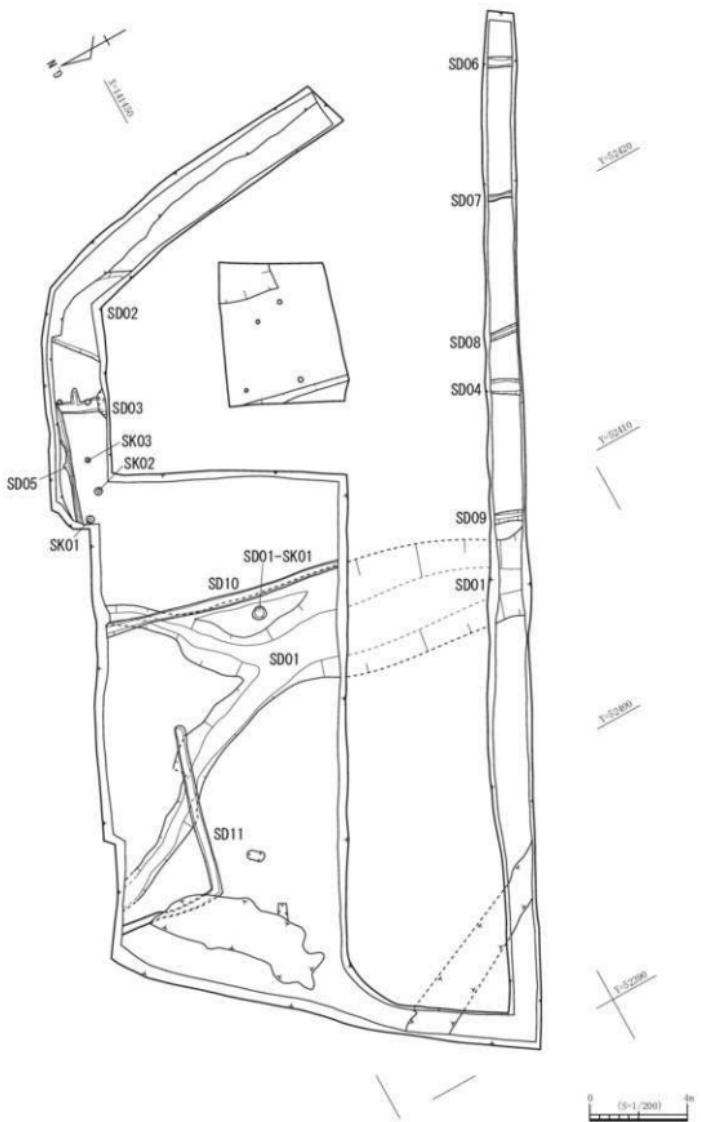
中世前半には、**横内東遺跡**（4）で13～14世紀の集落が確認されている（高松市教委編 2012）。方形区画と想定される区画溝があり、区画溝の内側には数棟の掘立柱建物跡や井戸跡が検出された。**三谷中原遺跡**（13）でも同時期の溝が数条確認されている。**西三谷中遺跡**（9）は、令和元年度の試掘調査で確認された遺跡である。試掘調査では、古代から中世と想定される数条の溝が検出された（高松市教委編 2020）。

中世後半になると、高松平野でも数多くの城館が造営され、調査地周辺でも**三谷城跡**（20）、**三谷氏**の家臣とされる鎌野・由良両氏の**鎌野城跡**（14）、**由良城跡**・**由良山城跡**が築かれた。16世紀末に豊臣秀吉により四国平定されると、生駒氏が讃岐国に入部する。**三谷三郎池**の築造年代は不明だが、寛永5年（1628）に4代藩主生駒高俊が西嶋八兵衛に命じ、改築したと伝えられている。

## 参照文献

- 藏本晋司 1995 「香川県高松市三谷石舟古墳の再検討」『香川考古』第4号, pp.75-89
- 栗松真也 2005 「三谷三郎池遺跡出土の弥生時代資料」『調査研究報告』第1号, 香川県歴史博物館, pp.31-44
- 濱田重人 1997 「高松市三谷町矢野面古墳測量調査報告」『香川考古』第6号, pp.55-70
- 藤井雄三 1983 「高松市雨山南遺跡発見の国府型ナイフ形石器」『香川考古』創刊号, pp.1-2
- 山本英之 2000 「平石上 3号墳」『香川県埋蔵文化財調査年報 平成10年度』, 香川県教育委員会, pp.64-65
- 香川県教育委員会 1984 「三谷三郎池西岸塗跡」『香川県埋蔵文化財調査年報 昭和58年度』, 香川県教育委員会, pp.11-14
- 香川県埋蔵文化財センター編 2019 『三谷中原遺跡』, 香川県教育委員会

- 香川県埋蔵文化財センター編 2020『北野遺跡・鎌野西遺跡』, 香川県教育委員会
- 香川考古刊行会編 1994『香川考古』第3号
- 香川考古刊行会編 2006「弥生時代後期後半～古墳時代前期の墳墓の集成」『香川考古』第10号, pp. 69~421
- 高松市教育委員会編 1974『高松市三谷町通谷遺跡調査概報』, 高松市埋蔵文化財調査報告第5集
- 高松市教育委員会編 2005『雨山南古墳群』, 高松市埋蔵文化財調査報告第88集
- 高松市教育委員会編 2007『平石上2号墳・石舟池古墳群』, 高松市埋蔵文化財調査報告第106集
- 高松市教育委員会編 2012『櫻内東遺跡』, 高松市埋蔵文化財調査報告第144集
- 高松市教育委員会編 2015『宮ノ浦道路』, 高松市埋蔵文化財調査報告第158集
- 高松市教育委員会編 2020『高松市内遺跡発掘調査概報』, 高松市埋蔵文化財調査報告第211集
- 高松市工芸高校郷土史研究会編 1992『三谷石舟古墳測量調査報告書』, 高松工芸高校郷土史研究会研究紀要第3集



第5図 遺構配置図 (S=1/200)

## 第III章 調査の成果

### 第1節 調査方法

調査は、建物基礎部分及び擁壁部分を対象とした。発掘調査は表土から遺構面までを重機により掘削、その後人力により遺構面を精査し遺構掘削を行った。

記録に際しては、基準点を基に1/20縮尺で平面図及び断面図を作図した。写真撮影は35mmフィルムカメラを用い、モノクロ・カラーリバーサルフィルムで記録し、補助的にデジタルカメラも用いた。

### 第2節 基本層序

基本層序は堆積時期や土質により、大別して4層にまとめることができる。I層は耕作土や花崗土を含めた近現代の造成土層である。約0.6～0.7m堆積している（第6図1～9層）。II層は暗褐～黒褐色シルト層で、調査地の西側では厚く堆積しシルト層で弥生土器を含む。一方、SD01より東側は薄く堆積し、細粒砂を主体とする。遺構面はII層上面である。III層はII層の下位に堆積した砂系を主体とする層である。大きく地形を捉えると、開析谷に堆積した砂層であるといえる。調査地内では、SD01やSD02の下位にある谷状地形（窪んだ地形）には、シルト層と砂層が交互に堆積するラミナ状の堆積がみられる。

遺構面の高さは、北側擁壁部分と建物基礎部分が約26.6m、南側擁壁部分が約26.8mである。掘削前の地形も南側が0.2mほど高かった。

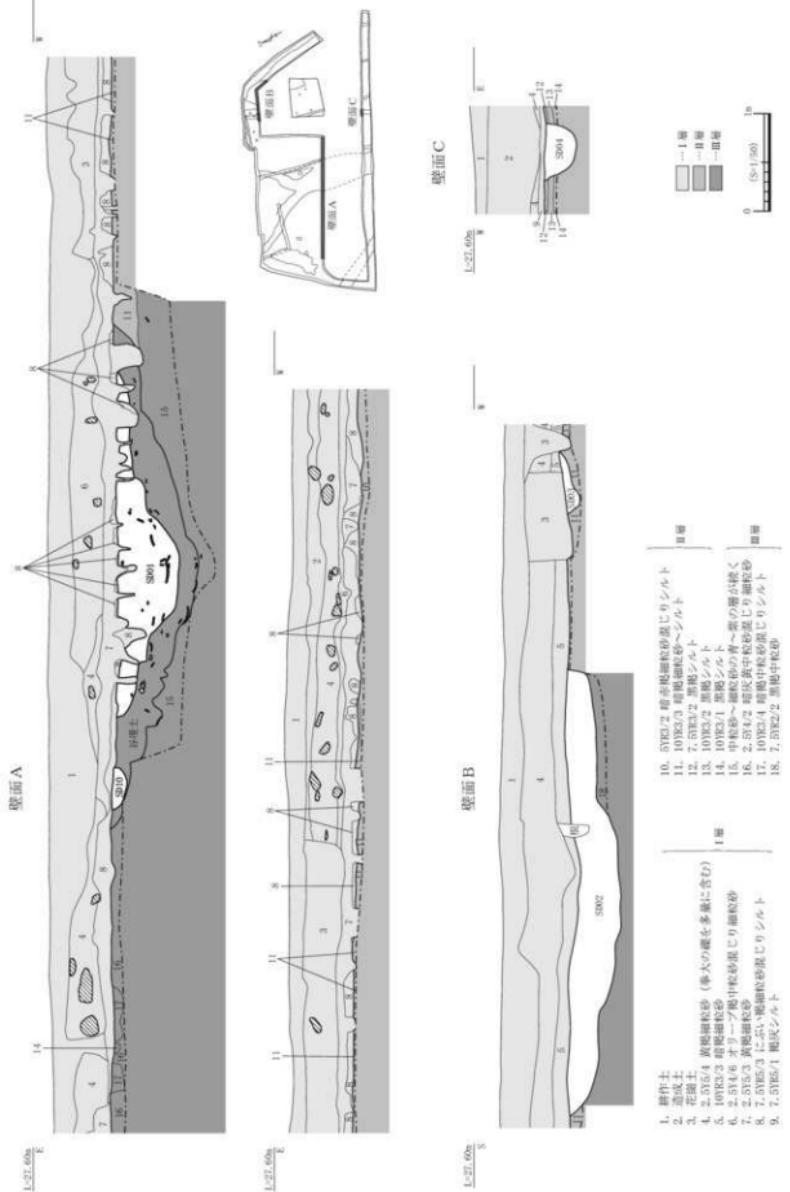
### 第3節 遺構・遺物

#### （1）弥生時代後期後半

##### SD01（第7～21図）

建物基礎部分及び南側擁壁部分で検出した。SD10とSD11に切られる。溝の掘削中は第7図5層まで溝の範囲と考えていたが、断面を精査すると西側の1層までがSD01の範囲と明らかになったため、溝の東端は不明である。幅約3.6m、深さ約0.6～0.8mの溝状遺構である。SD01は途中で北と西の二股に分かれる。北へ延びた溝からは遺物がほとんど出土せず、西へ延びた溝から遺物が出土した。西へ延びた溝は途中で地山と遺構の識別が困難になつたため、重機で掘り下げて遺構検出を行つた。底面の高さは調査区内ではほとんど同じで、標高約26.0mである。

SD01の下層は、谷地形である。SD01より西側と東側では地山が異なり、西側では暗褐色シルト層、東側では暗灰黄色中粒砂混じり細粒砂層である。SD01の南端で断ち割りを行つたところ（第7図断面）、溝の部分が谷部であったことが明らかになった（第7図、写真図版2）。すなわち、SD01が人為的に掘削されたものである場合、元来窪みがあった谷地形を利用して溝を掘削したことが分かる。



第6図 壁面土層図 (S=1/50)

断面形状は台形で、土層は3層に分かれる。上層・中層は黒褐色中粒砂混じりシルトで、下層は黒色細粒砂混じりシルトである。遺物は弥生時代後期後半の土器が出土し、特に中・下層から多量に出土した（写真図版3）。遺物は各層ごとに取り上げるよう努めたが、層位が区分できず中・下層として取り上げたものもある。南側擁壁部分は幅が狭かったため層序が区別できず一括で取り上げた。遺物はコンテナ29箱分、総重量約302.5kgの土器が出土した。

溝が二又に分かれる部分の東肩にテラスがあり、土坑（SD01-SK01）が1基認められる。土坑の平面形状は円形で、長短軸約0.58m、深さ約0.43mの土坑である。断面形状は半円状で、埋土はSD01の上層・中層と同じ中粒砂混じり黒褐色シルト層である。SK01とSD01の埋土の色調が同じであったため、平面検出では気づかず掘削後に土坑であると判明した。土坑からは大型土器の破片が出土した。

#### 出土遺物

遺物の多くは摩滅しており、調整が不明なものが多い。土器は中層と下層、上層と中層で取り上げた土器が接合する事例があること、各層で出土する土器の形態に時期差がみられないことから本遺構が短期間に埋没したと考えられる。そのため、本遺構は高松平野東部における弥生時代後期後半の土器相を表す重要な遺構と考え、できる限り土器を図化するよう努めた。そのため、小破片でも図化していることから傾きが不明確なものも含んでいる。

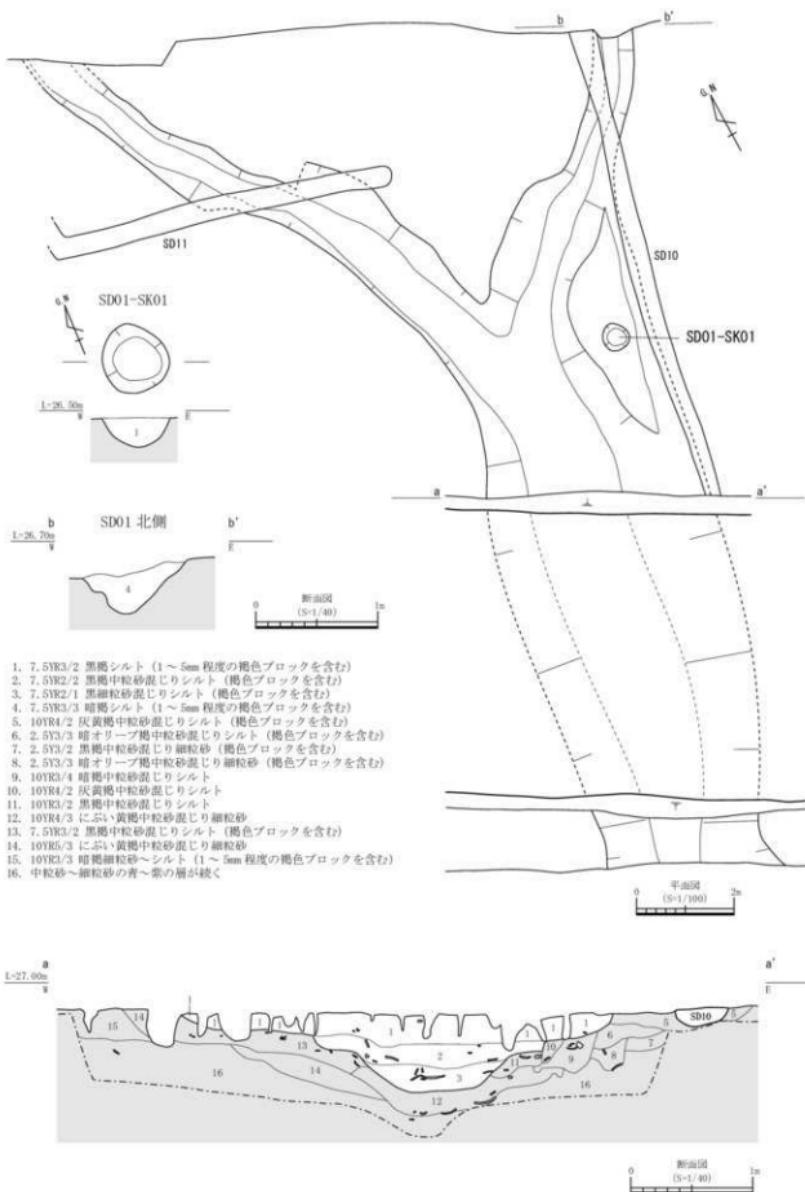
1～143はタタキ甕である。18のように口縁部端までタタキ痕がみられることから、タタキを施した後に口縁部を折り曲げて成形したと考えられる。口縁部は外反してく字状に開くものが多く、その形態はバリエーションに富む。多くの口縁部は外反して開くが、31・32・56～59・101～103・133・134・143のように内湾しながら開くものもみられる。これらはナデ方の違いに起因するものとみられる。胴部形態は砲弾状を呈するが、丸みを帯びるものや肩が張るものなど口縁部同様バリエーションに富む。胴部調整は、摩滅している土器が多いため詳細は不明だが、ハケ目や板ナデがみられることから、タタキ後に板状工具で整形するとみられる。

144～170はタタキ甕、鉢又は瓶の口縁部である。く字状口縁のタタキ甕に類似するが、口縁部があまり屈折せず如意形狀を呈する甕、口縁部が短く折れてく字状を呈する甕、如意形狀口縁をもつ鉢、如意形狀口縁をもつ瓶などが可能性として挙げられる。

171～225は香東川下流域系甕である。タタキ甕より口縁部が深く屈折し、口縁部は丁寧にナデされる。口縁端部の内面がつまみ上げられるものが多く、端部の形態はコ字状である。口縁部と接する頸部の内外面にナデがみられるものが多い。胎土はバリエーションに富んでおり、角閃石を含む香東川下流域産土器と角閃石を含まない香東川下流域系土器を分類することはできなかった。胎土については他器種の香東川下流域産土器についても同様であり、本報告書では全て香東川下流域系土器と述べる。今後は土器形態と胎土の関係について検討を進める必要がある。口縁部の個数からみると、タタキ甕と香東川下流域系甕の割合は約7:3である。

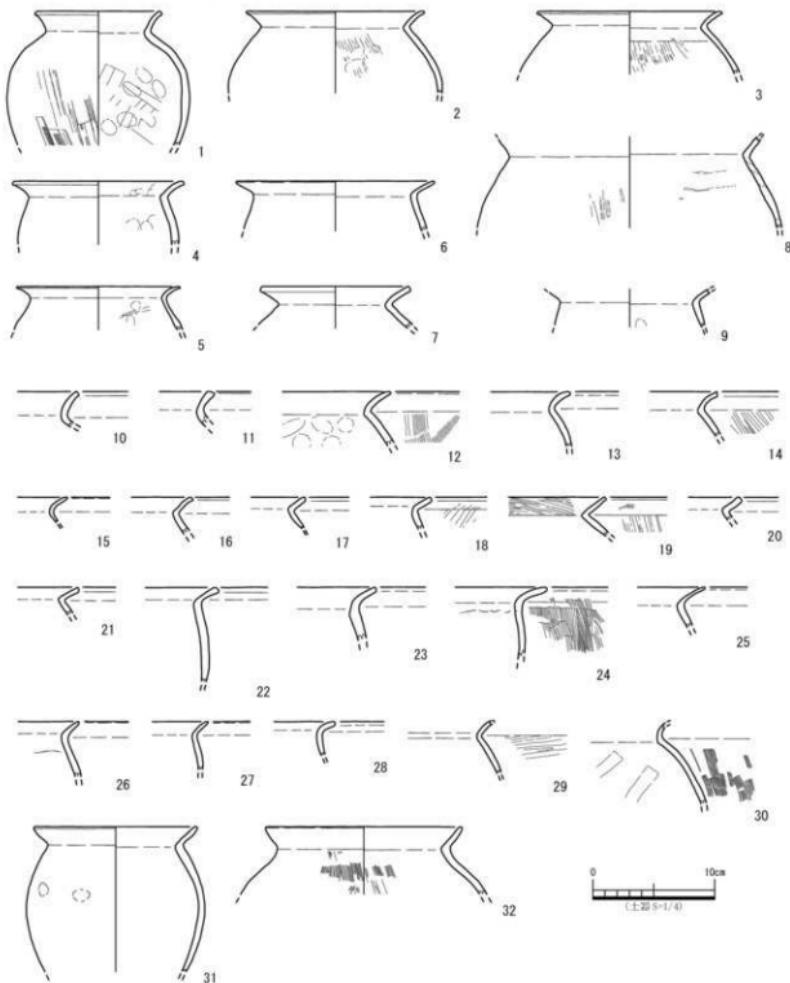
226～278は広口壺である。頸部から口縁部に向かって大きく開く。頸部から口縁部の形態は様々で、頸部が垂直気味に直立してから開くものや肩部から外反して開くものなどがある。口縁端部はコ字状を呈し、口縁端部の内面がつまみ上げられるものもみられる。279・280は二重口縁壺である。281～283は香東川下流域系土器の広口壺である。

284～297は鉢である。如意形狀口縁（284～286）と素口縁（287～297）がみられる。素



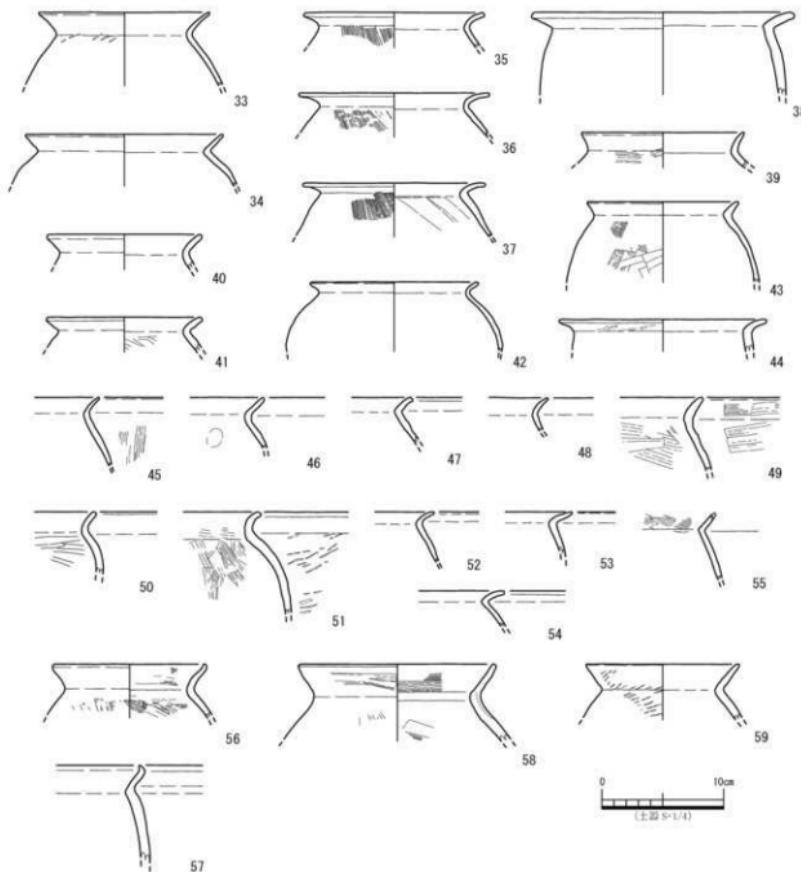
第7図 SD01 平・断面図 (S=1/100・1/40)

SD01 (南側擁壁部分:層序区分なし)



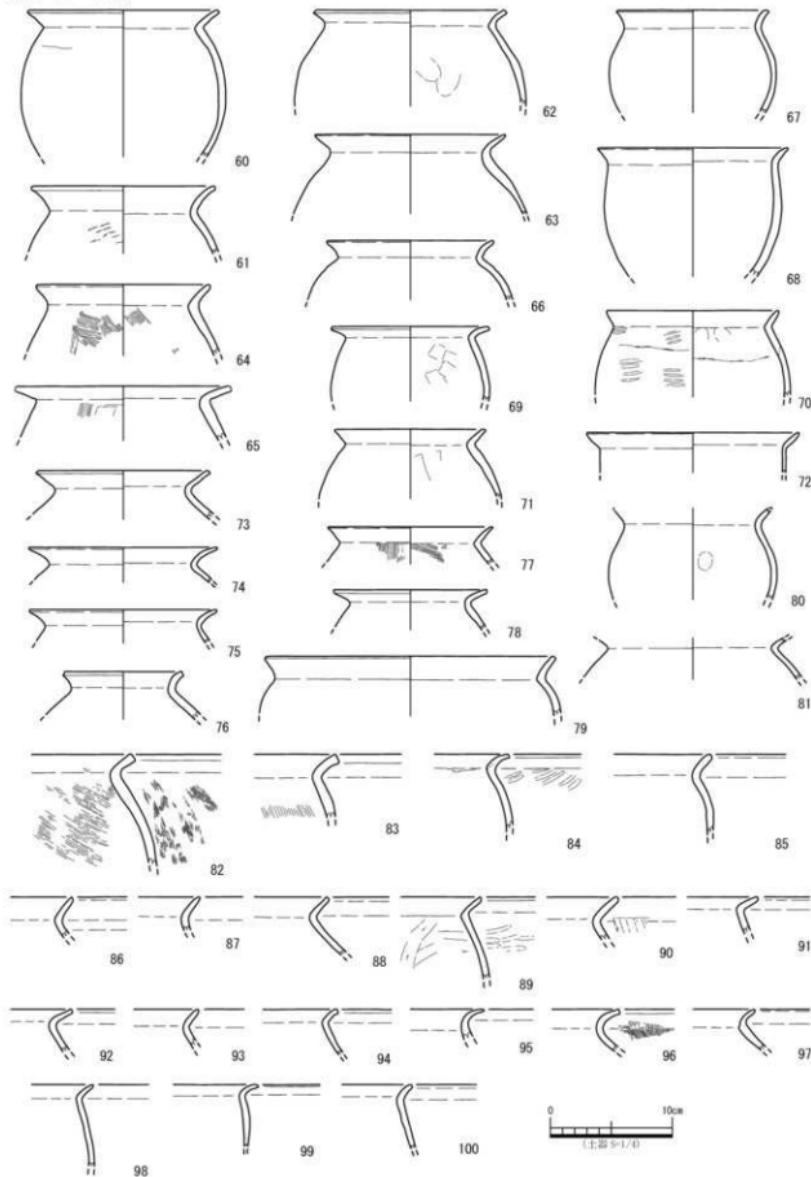
第8図 SD01出土遺物1(甕) (S=1/4)

SD01 (下層)

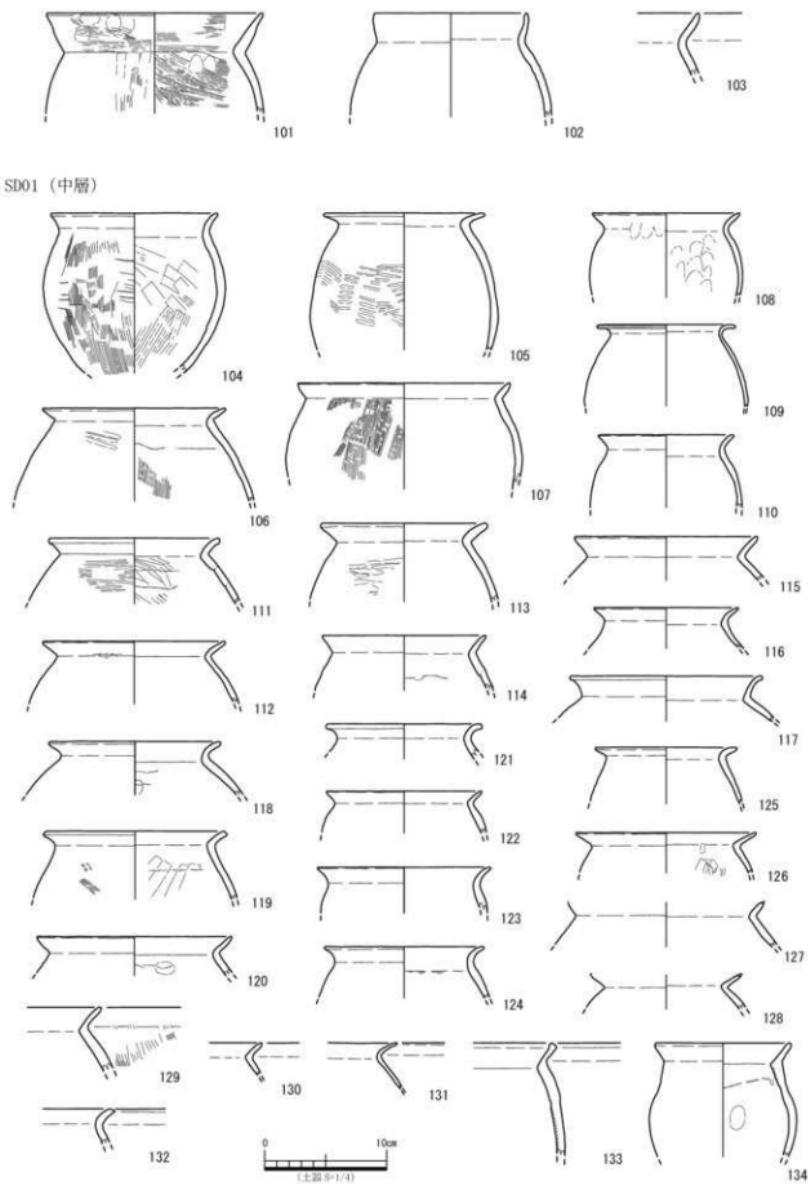


第9図 SD01出土遺物2(甕) (S=1/4)

SD01 (中・下層)

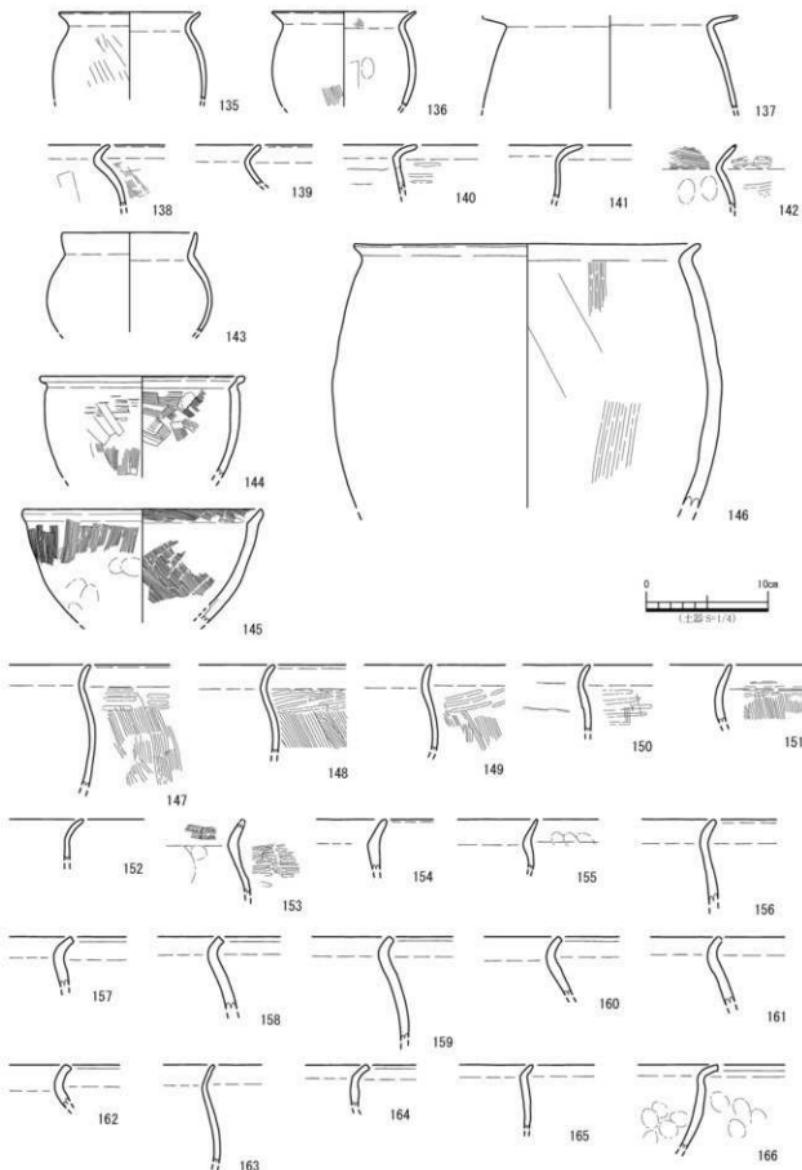


第10図 SD01出土遺物3(甕) (S=1/4)

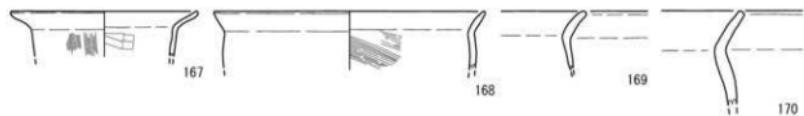


第 11 図 SD01 出土遺物 4 (甌) (S=1/4)

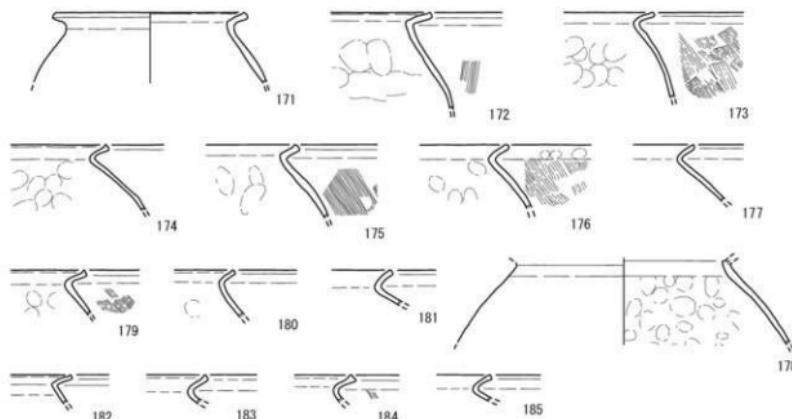
SD01 (上層)



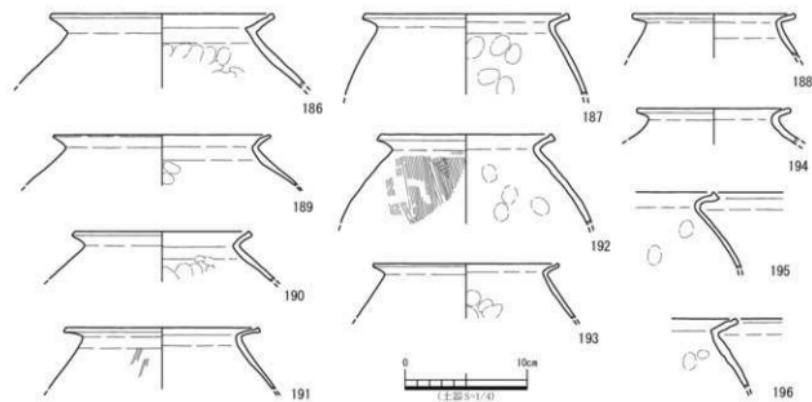
第12図 SD01出土遺物5(甕) (S=1/4)



SD01 (南側擁壁部分 : 層序区分なし)

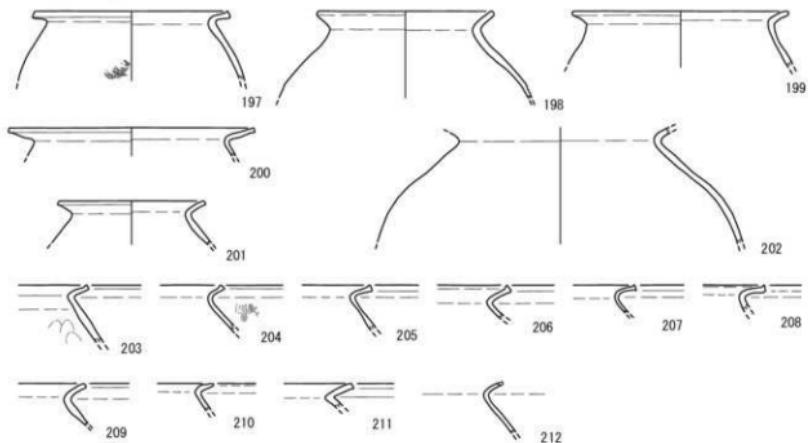


SD01 (下層)

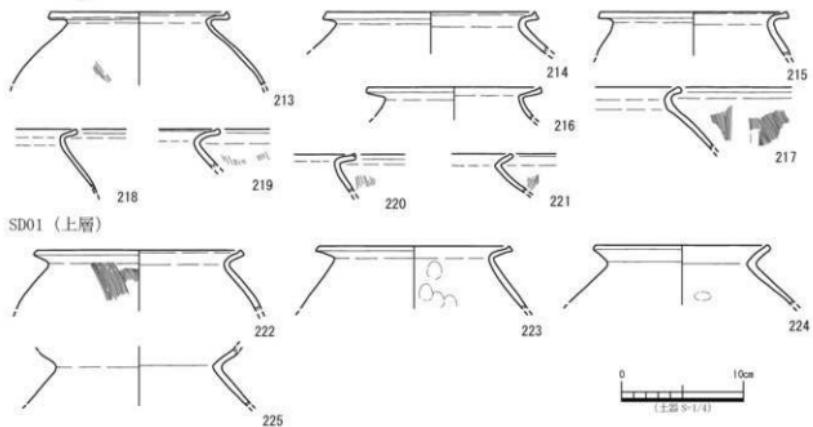


第13図 SD01出土遺物6(甌)(S=1/4)

SD01 (中・下層)

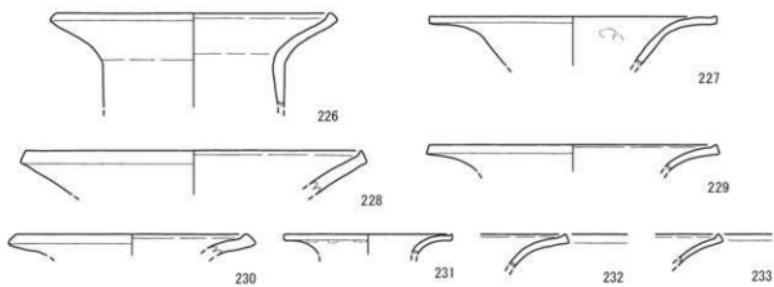


SD01 (中層)

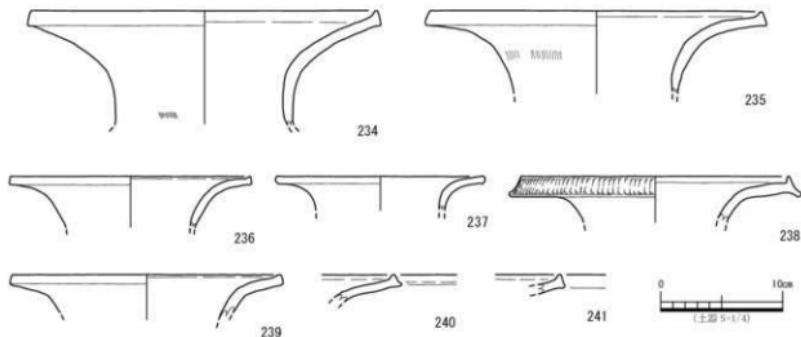


第14図 SD01出土遺物7(甕) (S=1/4)

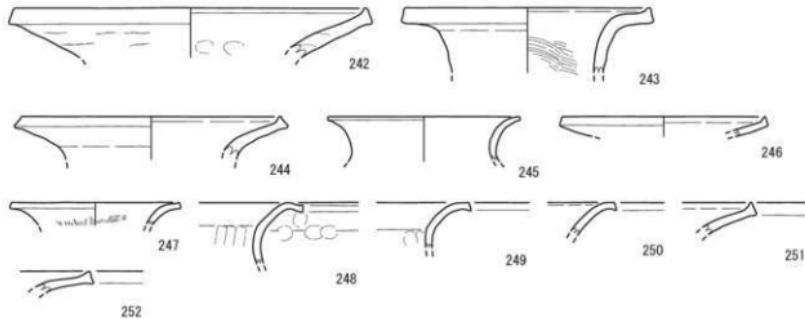
SD01 (南側擁壁部分:層序区分なし)



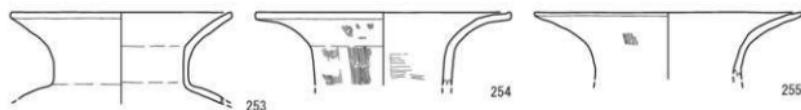
SD01 (下層)



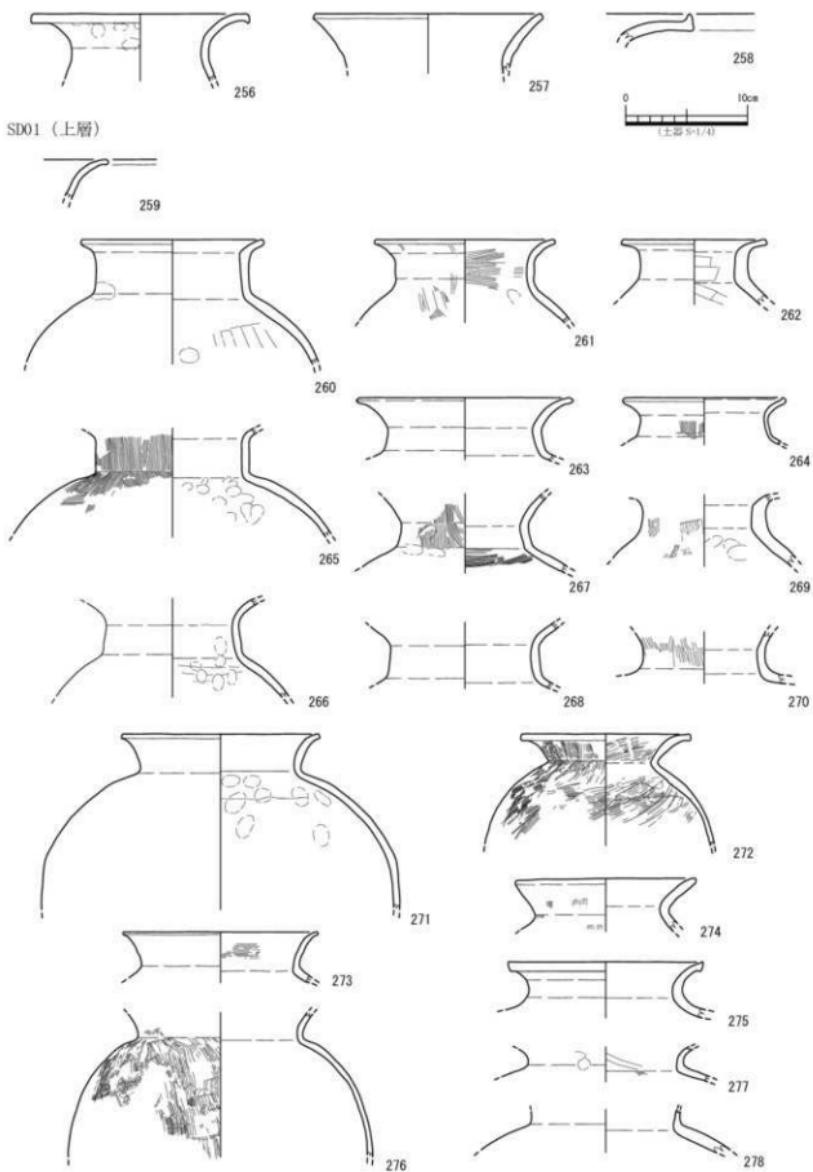
SD01 (中・下層)



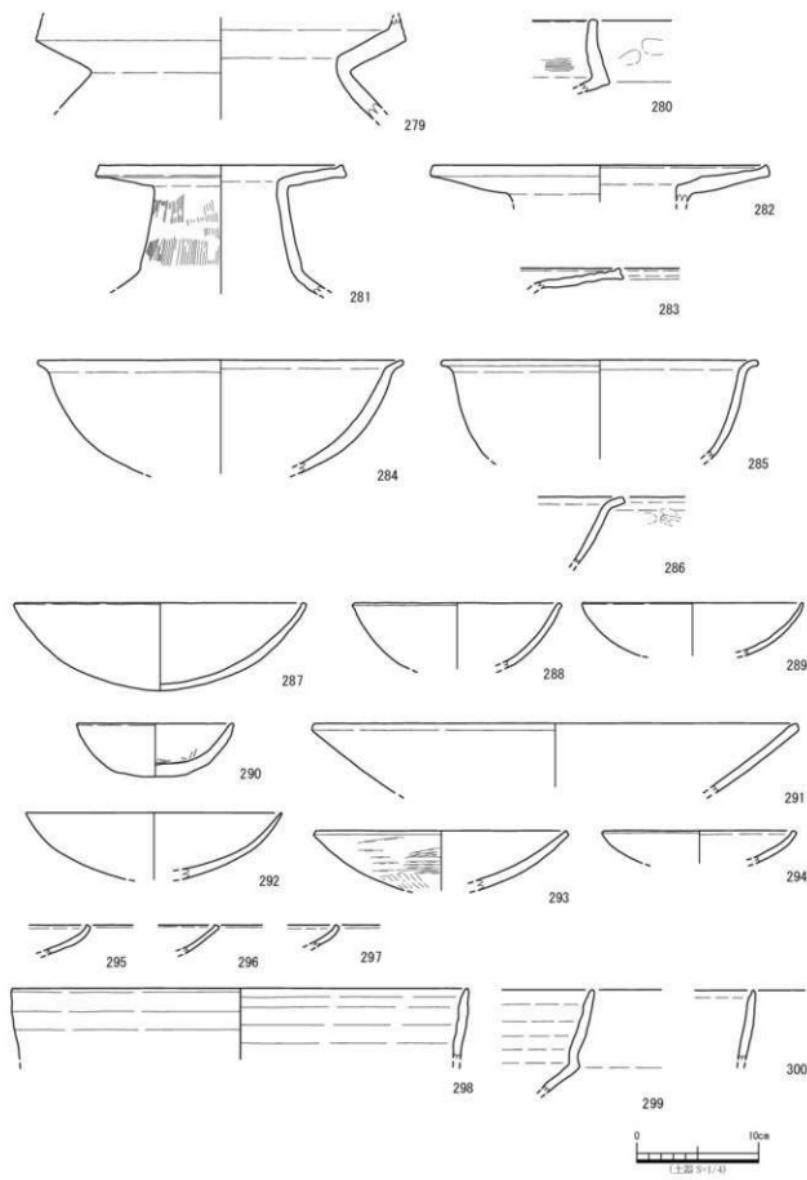
SD01 (中層)



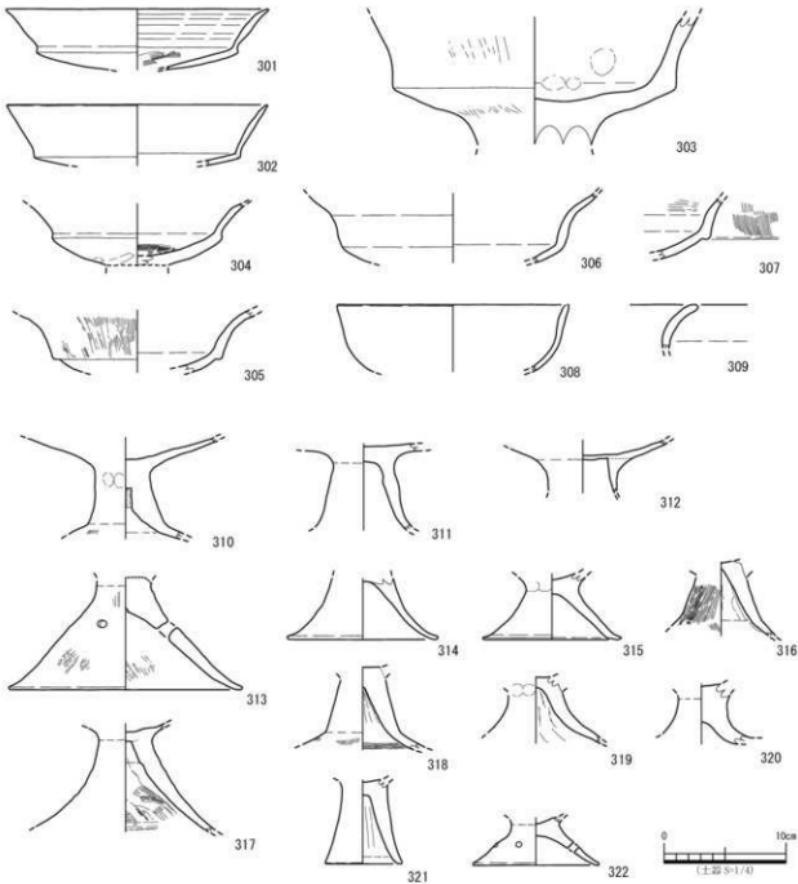
第15図 SD01出土遺物8(壺)(S=1/4)



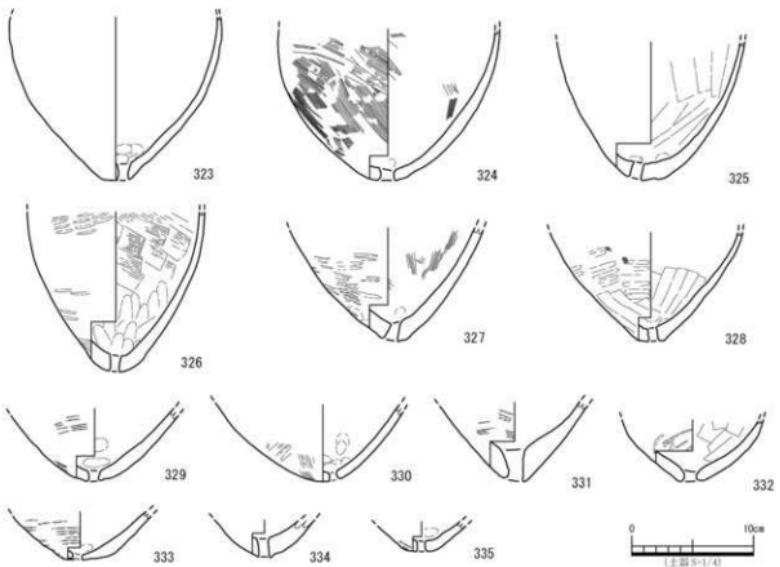
第16図 SD01出土遺物9(蓋)(S=1/4)



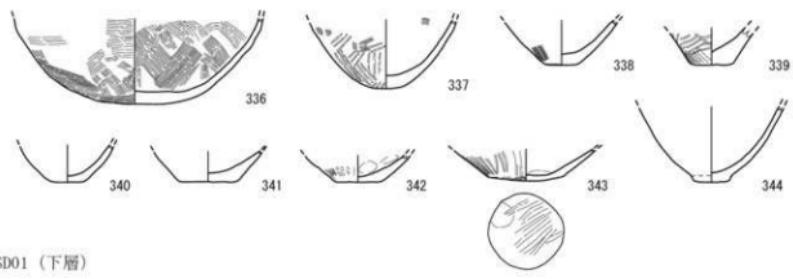
第 17 図 SD01 出土遺物 10 (壺・鉢) (S=1/4)



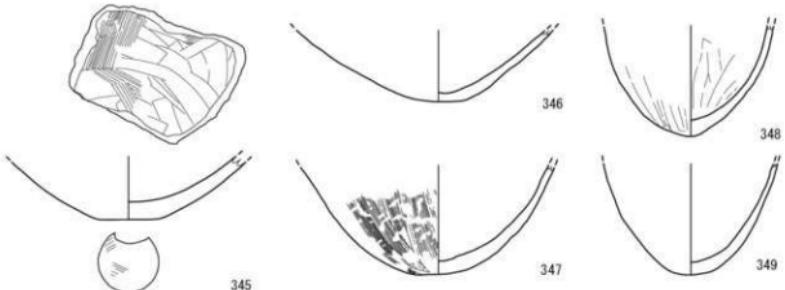
第18図 SD01出土遺物11(高杯)(S=1/4)



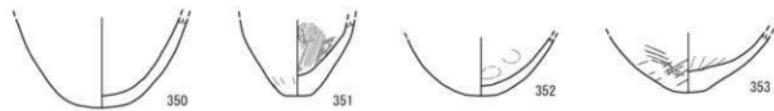
SD01 (南側擁壁部分: 層序区分なし)



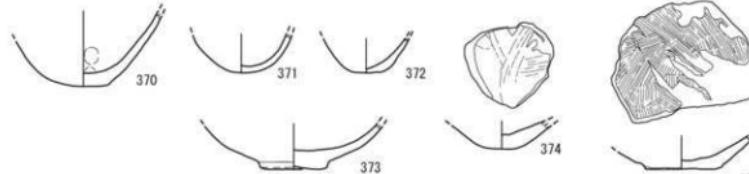
SD01 (下層)



第19図 SD01出土遺物12(帳・底部)(S=1/4)



SD01 (中・下層)

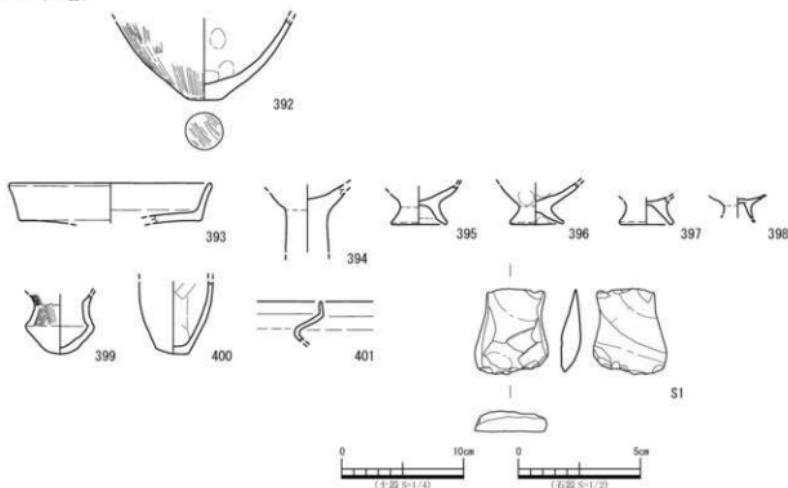


SD01 (中層)



第20図 SD01出土遺物13(底部) (S=1/4)

SD01 (上層)



第21図 SD01 出土遺物14（底部・その他）(S=1/4、1/2)

口縁の端部はヨ字状に整形されているものが多い。298～300は大型鉢である。口縁部はやや直立に立ち上がり、内面は強い横ナデにより凹凸状に整形される。301～309は高杯の杯部である。301、302は香東川下流域系土器の高杯又は鉢である。外に開きながら立ち上がる。303は器壁が厚い大型の高杯である。310～322は、高杯の脚部である。台付鉢の脚部も含む。323～335は瓶である。外面にはタタキが施され、内面は板ナデや指押さえがみられるものが多い。336～392は底部片である。393は器台と考えられるが、壺の口縁部の可能性もある。394は支脚と考えられるが、詳細は不明である。395～398は製塙土器の脚部である。399・400は小型土器である。401は吉備型甕の口縁部である。摩滅しており調整は不明である。S1はサスカイトの剥片である。

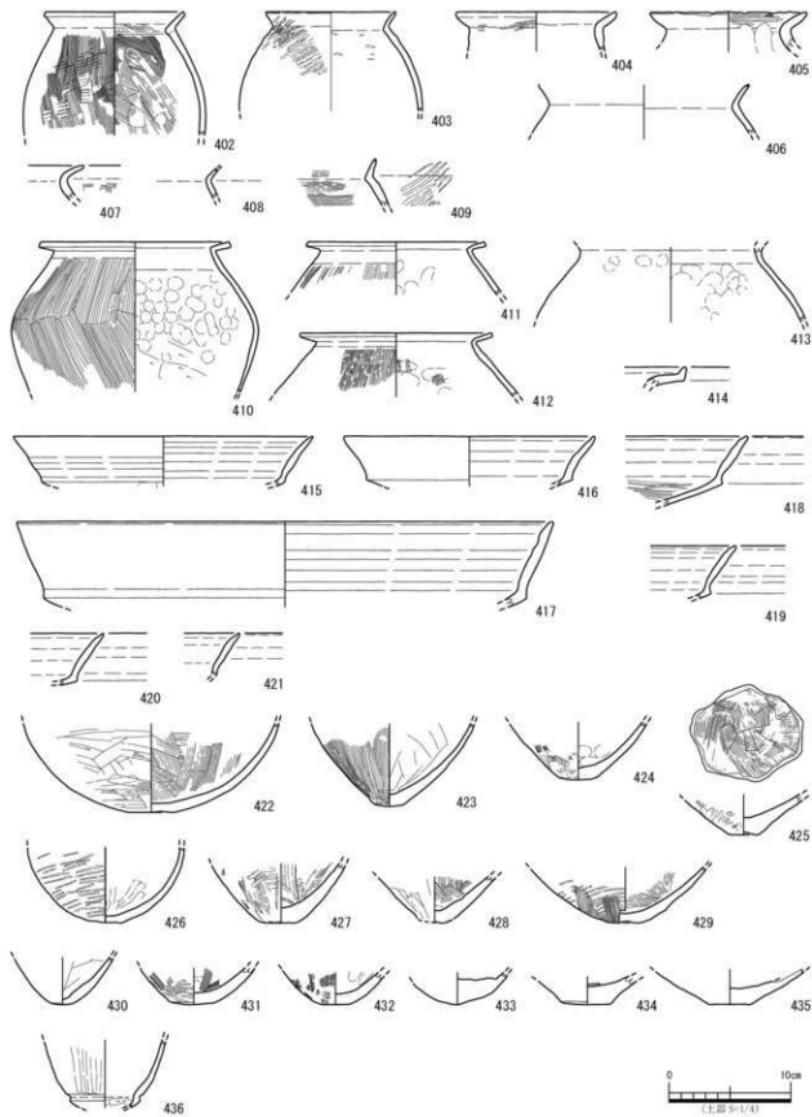
**SD01の時期** 出土遺物から弥生時代後期後半である。

**谷地形出土遺物** SD01の下層にある谷地形から出土した遺物である。402～409はタタキ甕である。410～413は香東川下流域系甕である。414は壺の口縁部である。415～421は高杯又は鉢の杯部である。香東川下流域系土器である。422～435は底部片である。436は小型丸底壺である。

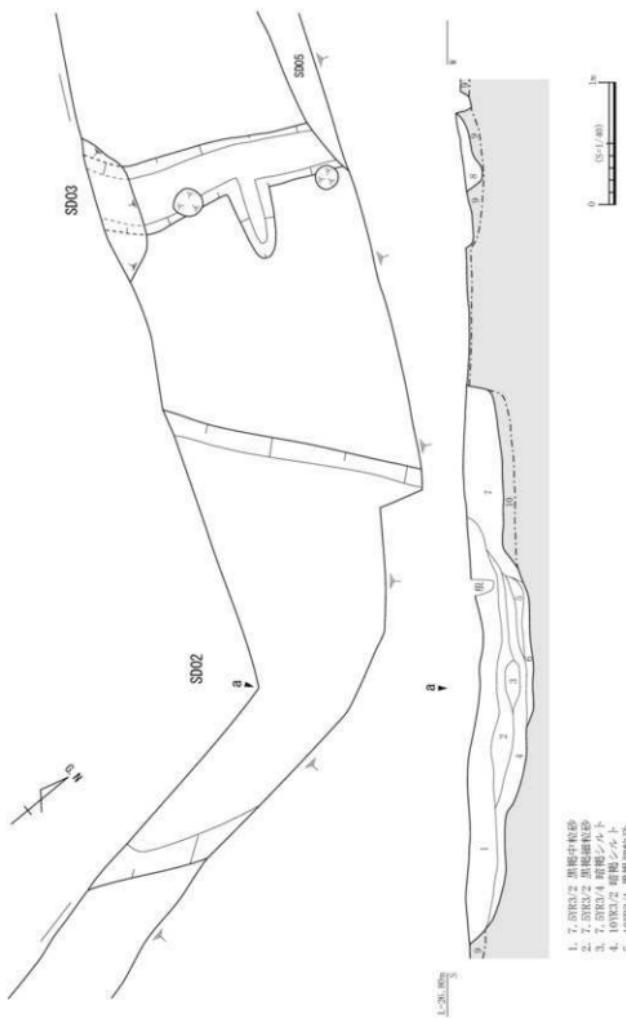
**谷地形埋没時期** 出土遺物がSD01と同時期であることから弥生時代後期後半である。

## S D O 2 (第23図)

北側擁壁部分で検出した。幅約3.6m、深さ約0.5mの溝状遺構である。埋土は7層に区分し、暗褐～黒褐色の中粒砂～シルトが堆積する(第23図1～7層)。SD02の下位には、白色



第22図 谷地形出土遺物 (S=1/4)



第23図 S002, 03平・断面図 (S=1/40)

粘土と白色砂質土が交互に堆積する、ラミナ状堆積がみられる。また、SD02の続きが想定される、南側擁壁部分や浄化槽部分では溝状の遺構がみられなかった。そのためSD02は、谷地形が埋没して形成された遺構で、人為的に掘削した溝ではない可能性がある。5~9層からは、SD01と同時期の弥生時代後期後半の土器が約2.1kg出土した。

#### SD03 (第23図)

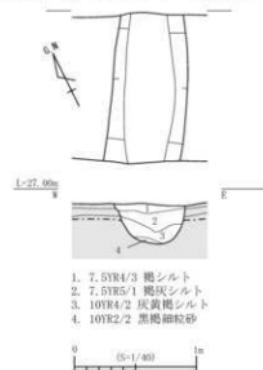
北側擁壁部分西側で検出した。SD05と搅乱に切られる。幅約0.5m、深さ約0.2mの溝で、中央で東側へ分岐し、平面形状がT字状になる。断面形状は半円形で、埋土はにぶい黄褐色シルトである。遺物は弥生土器片が約10点出土した。位置的にSD04と同一遺構の可能性があるが、埋土や断面形状が異なることから、別の遺構である可能性が高い。

#### SD04 (第24図)

南側擁壁部分中央やや東側で検出した。幅約0.6m、深さ約0.32mの溝である。断面形状は半円形で、埋土は4層に分かれる。遺物は出土していない。

#### SK01 (第25図)

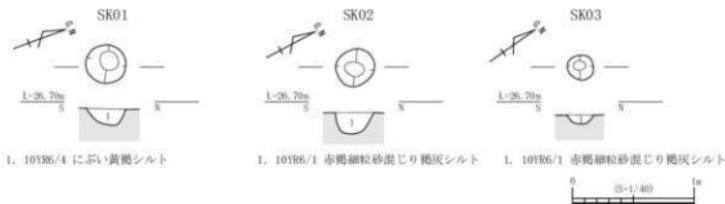
北側擁壁部分西端で検出した。平面形状は円形で、長軸約0.33m、深さ約0.15mの土坑である。断面形状は半円状で、埋土はにぶい黄褐色シルトの単層である。遺物は出土していない。



第24図 SD04 平・断面図 (S=1/40)

#### SK02 (第25図)

北側擁壁部分西端、SK01の東で検出した。平面形状は円形で、長短軸約0.32m、深さ約0.14mの土坑である。断面形状は半円状で、埋土は赤褐色細粒砂（地山）混じりの褐灰色シルトの単層である。遺物は、弥生土器片2点とサヌカイト剥片1点が出土した。



第25図 SK01～03 平・断面図 (S=1/40)

### **SK03** (第25図)

北側擁壁部分西端、SK02の東で検出した。平面形状は円形で、長短軸約0.20m、深さ約0.7mの土坑である。断面形状は半円状で、埋土は赤褐色細粒砂（地山）混じりの褐灰色シルトの単層である。遺物は出土していない。

### (2) 近現代

#### **SD05** (第26図)

北側擁壁部分西端、SK01～03の北で検出した。SD03を切る。幅約0.24m、深さ約0.1mの溝である。断面形状は半円形で、埋土は灰黄褐色シルトの単層である。遺物は出土していないが、I層から掘り込まれているため、近現代の所産と考えられる。

#### **SD06** (第26図)

南側擁壁部分東端で検出した。幅約0.44m、深さ約0.07mの溝である。断面形状は半円形で、埋土は明黄褐色シルトの単層である。遺物は出土していないが、I層から掘り込まれているため、近現代の所産と考えられる。

#### **SD07** (第26図)

南側擁壁部分東側で検出した。幅約0.26m、深さ約0.09mの溝である。断面形状は半円形で、埋土はにぶい黄橙色シルトの単層である。遺物は出土していないが、I層から掘り込まれているため、近現代の所産と考えられる。

#### **SD08** (第26図)

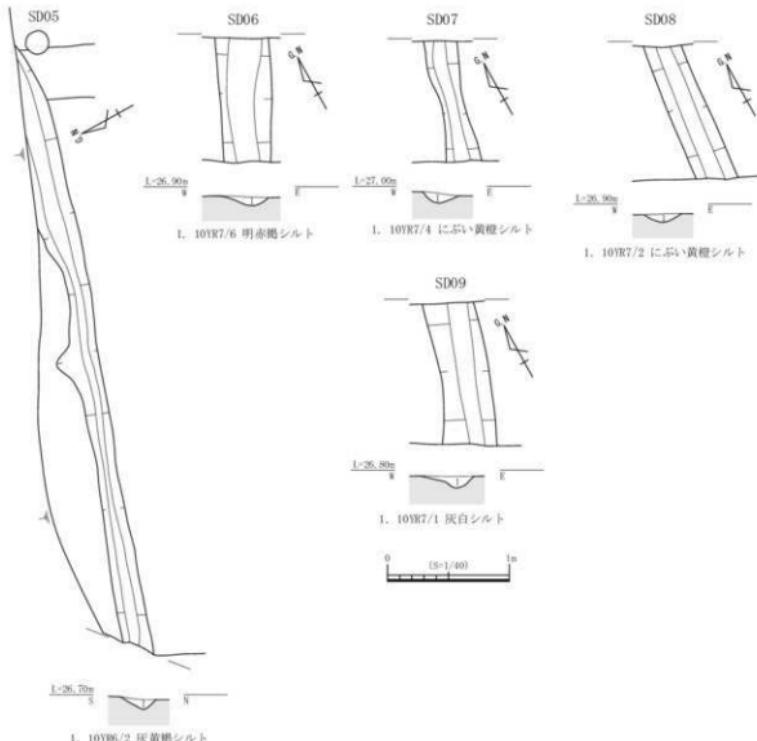
南側擁壁部分中央やや東寄りで検出した。幅約0.30m、深さ約0.06mの溝である。断面形状は半円形で、埋土はにぶい黄橙色シルトの単層である。遺物は出土していないが、I層から掘り込まれているため、近現代の所産と考えられる。

#### **SD09** (第26図)

南側擁壁部分中央、SD01の東で検出した。幅約0.40m、深さ約0.10mの溝である。断面形状は半円形で、埋土は灰白色シルトの単層である。位置的にSD10と同一遺構の可能性があるが、埋土や断面形状が異なることから、別の遺構である可能性が高い。遺物は出土していないが、I層から掘り込まれているため、近現代の所産と考えられる。

#### **SD10** (第27図)

建物基礎部分、SD01の東で検出した。幅約0.44m、深さ約0.15mの溝である。断面形状は半円形で、埋土は2層に分かれる。遺物は出土していないが、上層に花崗土が含まれていたため、近現代の所産と考えられる。



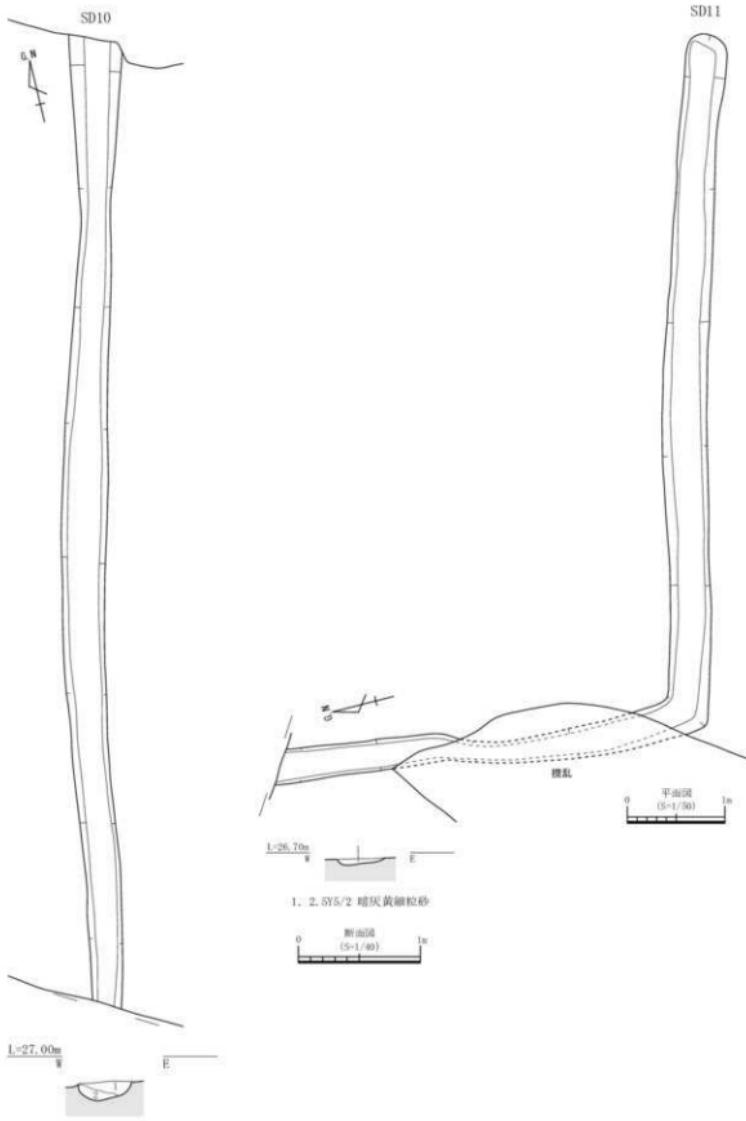
第 26 図 SD05 ~ 09 平・断面図 (S=1/40)

#### SD11 (第 27 図)

建物基礎部分中央、SD01 の東で検出した。平面形状は、途中で直角に折れて逆 L 字状を呈する。幅約 0.40 m、深さ約 0.10 m の溝である。断面形状は半円形で、埋土は暗灰黄色細粒砂の単層である。遺物は出土していないが、I 層から掘り込まれているため、近現代の所産と考えられる。

#### (3) 凈化槽部分（立会）

浄化槽部分は、西から溝 1 条、土坑 4 基、不明遺構 1 基が出土した。溝は、SD08 の続きと考えられる。土坑はいずれも埋土が花崗土で、現代の所産と考えられる。不明遺構からは弥生時代後期後半の土器が出土し、SD02 から続く自然地形の一部と考えられる。



第27図 SD10・11 平・断面図 (S=1/50・1/40)

## 第4節　まとめ

本調査では、弥生時代後期後半の溝状遺構である SD01、02 を確認した。SD01 は上層・中層・下層に区分したが土質にはほとんど差異はなく、また上層と中層、中層と下層で遺物が接合し、出土遺物に時期差もないことから短期間に埋没したものと思われる。そのため、本遺構は発掘調査事例が少ない高松平野東部における弥生時代後期後半の土器相を表す重要な遺構である。

SD01 の下層にある谷地形はラミナがみられ、自然堆積であることが明らかである。SD01 の下層の谷地形と SD01 の埋没時期は同時期であり、SD01 の遺物が摩滅していることを考慮すると、SD01 は人為的に掘削された溝ではなく谷地形が埋没した遺構である可能性も考えられる。調査中においても SD01 が人為的に掘削された溝か、谷地形の埋没によるものかについて検討し、調査終了後に重機による東西の断ち割りを行ったが、調査地の複雑な堆積状況が明らかになり判断できなかった。

本調査区で多量の土器が出土したことは、周辺に集落があったことが想定される。今後の調査に期待したい。

第1表 土器概観表(1)

擇認 番号	遺物 番号	遺物名 /層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	焼成	備考			
						口径	底径	器高	外面		内面						
									外表面	内表面	外表面	内表面					
8	1	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[10.0]	—	[11.0]	タケ・ハケ 目・ナデ	ナデ・指押 さえ	2.5YR7/6橙 7.5YR6/6橙	青 6cm以下の石灰、黄 石、赤色斑、黑色粒 を含む	良	外函: 黒斑有			
8	2	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[14.4]	—	[6.7]	ナデ・摩減	ナデ・摩減	2.5YR7/6橙 7.5YR7/6橙	青 6cm以下の石灰を含む	良				
8	3	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[15.2]	—	[5.2]	ナデ・摩減	ハケ目・ナ デ	2.5YR7/6橙 7.5YR7/6橙	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良	2と同一鉢体3			
8	4	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[13.8]	—	[5.2]	ナデ	ナデ・指押 さえ	10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石、6cm以下に白色 を含む	良				
8	5	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[13.4]	—	[3.6]	摩減	指押さえ・ 摩減	2.5YR6/6橙 7.5YR6/6橙	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	6	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[16.6]	—	[4.1]	摩減	摩減	10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	7	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[12.6]	—	[3.4]	摩減	ナデ・摩減	10YR8/3C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	8	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[7.4]	摩減	摩減	10YR6/3C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	9	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[3.1]	—	[3.1]	摩減	摩減	10YR6/6橙	10YR8/2C白 青	良				
8	10	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.9]	摩減	摩減	2.5YR6/4灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	11	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.9]	摩減	摩減	10YR6/2C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	12	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[4.4]	ハケ目・ナ デ	指押さえ・ 摩減	10YR8/3C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	13	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[4.5]	摩減	摩減	10YR8/3C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、黄 石を含む	良				
8	14	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[3.7]	ハケ目・ナ デ	摩減	2.5YR6/6橙	2.5YR7/4C白 青	良				
8	15	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.1]	摩減	摩減	2.5YR6/6橙 7.5YR6/6橙	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	16	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[3.0]	ナデ	ナデ	2.5YR6/6橙 7.5YR7/6橙	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	17	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.6]	摩減	摩減	10YR7/8褐 10YR7/8褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	18	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.6]	ハケ目	摩減	10YR7/6橙 10YR8/2C白	青 6cm以下の砂粘を含む	良				
8	19	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[3.2]	ハケ目・ナ デ	ハケ目・ナ デ	2.5YR6/4灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	20	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[1.9]	摩減	摩減	10YR6/6橙 10YR7/6橙	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	21	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.3]	摩減	摩減	10YR6/3C灰 い黄褐	青 6cm以下の砂粘を含む	良				
8	22	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[7.8]	摩減	摩減	10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	23	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[4.5]	ナデ	摩減	2.5YR7/7橙	2.5YR8/3灰 い黄褐	青 6cm以下の砂粘を含む	良			
8	24	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[5.9]	ハケ目・摩 ナデ	ナデ・摩減	10YR6/6橙 10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	25	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[3.3]	摩減	摩減	2.5YR7/1灰 10YR7/1灰	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	26	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[4.5]	摩減	摩減	10YR6/6橙	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	27	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[3.9]	ナデ	ナデ	10YR6/4C灰 10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	28	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[2.8]	摩減	摩減	10YR6/4灰 10YR6/4灰	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	29	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[4.3]	タケ・ナ デ	タケ・ナ デ	10YR7/6褐 10YR7/6褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	30	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	—	—	[6.6]	ハケ目・ナ デ	ナデ	2.5YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	31	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[13.0]	—	[11.9]	ナデ・指押さ え	摩減	2.5YR6/6橙 2.5YR6/6橙	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
8	32	SD01(南側 縫隙部分)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[16.0]	—	[5.0]	ハケ目・ナ デ	ハケ目・ナ デ	2.5YR6/6橙 10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	33	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[14.0]	—	[6.0]	摩減	摩減	10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	34	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[14.0]	—	[4.3]	摩減	摩減	10YR7/4C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	35	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[14.6]	—	[2.9]	ハケ目・ナ デ	ナデ	10YR7/2C灰 い黄褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	36	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[15.2]	—	[3.7]	ハケ目・摩 ナデ	ハケ目・ナ デ	2.5YR7/6褐 10YR7/6褐	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	37	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[14.7]	—	[4.4]	ハケ目・ナ デ	ナデ・摩減	10YR9/3浅黄 10YR9/1褐色	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	38	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[21.0]	—	[6.8]	摩減	摩減	2.5YR6/4浅黄 10YR8/1褐色	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	39	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[13.11]	—	[2.9]	タケ・摩 ナデ	タケ・摩 ナデ	2.5YR7/10C白 10YR7/10C白	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	40	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[12.4]	—	[2.9]	摩減	摩減	10YR8/2C白 10YR8/2C白	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良	外函: 黒斑有			
9	41	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[12.4]	—	[2.9]	ナデ・摩減	摩減	7.5YR7/1褐色 10YR7/1褐色	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				
9	42	SD01(下 層)	弥生土器	甕	口縁~ 胴部	[13.4]	—	[5.7]	摩減	摩減	10YR7/6浅黄 10YR7/6浅黄	青 6cm以下の石灰、白 石を含む	良				

第2表 土器観察表(2)

探査番号	遺物番号	遺様名/層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	焼成	備考			
						口径	底径	器高	外面		内面						
									外面	内面	外面	内面					
9	43	(下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(12.4)	—	[6.6]	ハケ目・摩滅	摩滅	10788/4浅黄 褐色	10788/2灰白	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良 外表面：黒 内側有		
9	44	(下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(17.0)	—	[2.7]	摩滅	摩滅	10788/5浅黄 褐色	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	45	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.6]	摩滅	摩滅	10788/4浅黄 褐色	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	46	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.1]	摩滅	ナデ	10787/6標	10787/6標	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	47	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.9]	摩滅	摩滅	10788/5浅黄 褐色	10787/2灰白 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	48	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[2.7]	摩滅	摩滅	7.5YR6/2浅黄 褐色	7.5YR6/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	49	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[6.0]	摩滅	ナデ	7.5YR6/4浅黄 褐色	10786/1褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	50	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.1]	摩滅	ナデ	7.5YR7/4灰白 1-4D	7.5YR7/4灰白 1-4D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	51	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.3]	タキ目・ナデ	ハケ目・ナ デ	10788/5浅黄 褐色	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	52	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.1]	摩滅	摩滅	10789/2灰白	10789/2灰白	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	53	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.7]	摩滅	摩滅	10788/5浅黄 褐色	10787/2灰白 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	54	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[2.9]	摩滅	摩滅	10787/4L2-5 1-5D	7.5YR7/2明褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	55	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.4]	摩滅	ハケ目・ナ デ	10787/2L2-5 1-5D	10787/2L2-5 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	56	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(12.6)	—	[4.4]	ハケ目・摩滅	ハケ目・摩 滅	10787/4L2-5 1-5D	10787/4L2-5 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	57	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[8.0]	摩滅	摩滅	7.5YR7/4灰白 1-4D	7.5YR7/4灰白 1-4D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	58	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.6)	—	[6.3]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR7/4灰白 1-4D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
9	59	(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(12.6)	—	[4.6]	タキ目・摩滅	摩滅	10788/5浅黄 褐色	10788/5浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	60	(中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.2)	—	[12.0]	摩滅	摩滅	10787/6標	7.5YR6/4浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	61	(中・ 上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.9)	—	[5.6]	ナデ・摩滅	ナデ	10787/6標	7.5YR7/6標	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	62	(中・ 上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(26.0)	—	[7.8]	摩滅	ナデ	10786/3L2-5 1-5D	7.5YR7/4灰白 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	63	(中・ 上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.6)	—	[6.5]	摩滅	摩滅	10786/3標	10787/4L2-5 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	64	(中・ 上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.0)	—	[5.9]	タキ目・ナ デ・摩滅	タキ目・ナ デ・摩滅	10786/4L2-5 1-5D	10786/4L2-5 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	65	(中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(17.4)	—	[4.5]	ハケ目・ナデ	摩滅	10788/3浅黄 褐色	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	66	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(13.4)	—	[4.9]	摩滅	横ナデ・摩 滅	10787/6標	10787/6標	普通	10m3下の石質・黒 石・金雲母・赤色 鉱・黑色鉱を含む	良		
10	67	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(11.8)	—	[8.4]	摩滅	摩滅	7.5YR6/6標	10784/1褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・黄鐵・赤色鉱 を含む	良		
10	68	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.4)	—	[10.6]	摩滅	ナデ	7.5YR8/5浅黄 褐色	10788/3灰白	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	69	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(12.8)	—	[6.1]	ナデ・摩滅	摩滅	7.5YR7/4L2-5 1-5D	7.5YR7/4L2-5 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	70	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.1)	—	[7.1]	タキ目・摩 滅	摩滅	10786/6標	10786/6標	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	71	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(11.8)	—	[5.7]	ナデ	ナデ	10788/5浅黄 褐色	10788/5浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	72	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(17.4)	—	[3.5]	摩滅	摩滅	7.5YR8/6浅黄 褐色	7.5YR8/6浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	73	S601 (中・ 上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(13.8)	—	[4.0]	摩滅	摩滅	10788/3標	7.5YR8/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	74	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.4)	—	[2.8]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	75	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.3)	—	[2.8]	摩滅	摩滅	7.5YR7/6標	7.5YR7/6標	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	76	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(9.6)	—	[3.5]	ナデ	ナデ	7.5YR6/6標	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	77	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(13.4)	—	[3.1]	ハケ目・ナ デ	ハケ目・ナ デ	7.5YR7/4L2-5 1-5D	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	78	S601 (中・ 上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(12.4)	—	[3.3]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	79	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(23.4)	—	[4.9]	ナデ	摩滅	7.5YR8/2灰白	10788/3浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良 外表面：黒斑有		
10	80	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.5]	摩滅	摩滅	7.5YR6/6標	10786/4L2-5 1-5D	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	好と同一個体 化		
10	81	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.5]	ナデ	摩滅	10787/4L2-5 1-5D	10788/2灰白	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		
10	82	S601 (中・ 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[9.2]	ハケ目・ナ デ	ハケ目・摩 滅	10786/8標	10788/4浅黄 褐色	普通	10m3下の石質・黒 石・赤色鉱・黑色鉱 を含む	良		

第3表 土器観察表(3)

擇認番号	遺物番号	遺構名/層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	焼成	備考	
						口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面			
10	83	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[5.2]	摩滅	摩滅・ハケ目	SMT/6縦	SMT/6縦	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑・無色斑を含む	良
10	84	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[6.4]	タタキ・ナデ	ナデ	2.5YR/2灰黄	2.5YR/2灰黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑・無色斑を含む	良
10	85	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[6.6]	摩滅	摩滅	SMT/6縦	10YR/8/浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑・無色斑を含む	良
10	86	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[3.4]	ナデ	ナデ	7.5YR/5/3灰白	7.5YR/4/4灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	87	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[2.7]	摩滅	摩滅	SMT/8縦	7.5YR/4/4灰黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	88	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[4.8]	摩滅	摩滅	10YR/8/2灰白	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	89	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[6.7]	タタキ・摩滅	ナデ・摩滅	7.5YR/7/4灰	10YR/7/4灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	90	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[3.4]	ナデ	ナデ	10YR/6/4灰	10YR/6/4灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	91	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[3.0]	摩滅	摩滅	SMT/6縦	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	92	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[3.6]	摩滅	摩滅	10YR/8/2灰黄	10YR/8/1灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	93	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[3.2]	摩滅	摩滅	10YR/8/2灰白	10YR/8/2灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	94	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[3.7]	ナデ・摩滅	ナデ・摩滅	10YR/8/3浅黄	10YR/7/3灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	95	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[2.5]	摩滅	摩滅	10YR/8/3灰黄	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	96	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[3.5]	ハケ目・ナデ	摩滅	10YR/6/4灰	10YR/7/4灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	97	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[3.4]	ナデ	ナデ	10YR/8/3浅黄	10YR/4/1褐色	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	98	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[6.7]	摩滅	摩滅	SMT/6縦	10YR/8/4灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	99	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[5.1]	摩滅	摩滅	2.5YR/6/6縦	2.5YR/7/5灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
10	100	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[5.5]	摩滅	摩滅	SMT/6縦	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	101	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	(17.6)	—	[8.2]	ハケ目・ナデ	ハケ目	2.5YR/7/6縦	2.5YR/7/6縦	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	102	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	(12.4)	—	[8.5]	摩滅	摩滅	10YR/7/4灰	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	103	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[5.1]	摩滅	摩滅	10YR/8/3浅黄	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	104	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(13.5)	—	[13.1]	タタキ・ハケ目・摩滅	ハケ目・ナデ・摩滅	7.5YR/6/4灰	7.5YR/6/4灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良 内面：黒斑有
11	105	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(12.9)	—	[11.2]	タタキ・摩滅	摩滅	10YR/8/3灰黄	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	106	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(15.6)	—	[7.6]	タタキ・摩滅	摩滅	10YR/8/3灰黄	10YR/8/2灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	107	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(17.2)	—	[8.7]	ハケ目・摩滅	摩滅	SMT/7/2灰	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	108	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	(12.6)	—	[6.8]	摩滅	摩滅	7.5YR/7/6縦	7.5YR/7/6縦	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	109	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(11.4)	—	[6.7]	摩滅	摩滅	2.5YR/6/4灰	10YR/5/1褐色	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	110	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(11.1)	—	[6.0]	摩滅	摩滅	10YR/8/3灰黄	10YR/8/4浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	111	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(14.6)	—	[5.4]	タタキ・ナデ	ナデ	7.5YR/4/4縦	7.5YR/4/4縦	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	112	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(14.8)	—	[5.1]	摩滅	摩滅	10YR/8/2灰白	10YR/8/2灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	113	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(13.7)	—	[6.5]	タタキ・摩滅	ナデ・摩滅	10YR/8/2灰白	10YR/8/2灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	114	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(13.4)	—	[4.5]	摩滅	摩滅	7.5YR/6/6縦	7.5YR/6/6縦	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	115	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(14.7)	—	[3.6]	ナデ	ナデ	10YR/8/2灰白	10YR/8/2灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	116	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	(11.7)	—	[3.4]	ナデ	ナデ	10YR/5/1褐色	10YR/5/1褐色	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	117	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(15.6)	—	[3.7]	ナデ	摩滅	10YR/8/3灰黄	10YR/5/1褐色	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	118	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(13.6)	—	[4.4]	摩滅	摩滅	10YR/8/3灰黄	10YR/8/3浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	119	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(14.6)	—	[3.6]	ナデ	ナデ	10YR/7/4灰	10YR/7/3灰	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	120	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	(16.6)	—	[3.2]	摩滅	摩滅	2.5YR/4/4縦	10YR/8/4灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	121	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁部	(12.6)	—	[2.9]	摩滅	摩滅	10YR/5/1褐色	10YR/8/2灰白	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	122	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(12.6)	—	[3.3]	摩滅	摩滅	10YR/8/4灰黄	10YR/8/4浅黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良
11	123	SD01(中・下層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(14.2)	—	[3.6]	摩滅	摩滅	10YR/7/6明黄	10YR/7/6明黄	青白	1mm以下の石灰・黄白・赤色斑を含む	良

第4表 土器観察表(4)

採集番号	遺物番号	遺構名/層位	種類	器種	部位	測量(cm)		調整		色調		粘土	焼成	備考		
						口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面				
11	124	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(12.9)	—	[4.2]	ナデ	摩滅	10YR8/3浅黄 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	125	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(11.6)	—	[4.7]	摩滅	摩滅	7.5YR6.6褐 7.5YR6.6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	126	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(14.8)	—	[3.3]	摩滅	指押さえ・ 要領	10YR8/2K白 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	127	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[3.7]	摩滅	摩滅	2YR6.6褐 2YR6.6褐	10YR7/4K灰 10YR8/4浅黄 10YR8/4浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
11	128	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[2.9]	摩滅	摩滅	10YR8/4浅黄 10YR8/4浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	129	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[5.2]	摩滅	摩滅	10YR8/4浅黄 10YR8/4浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	130	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[2.7]	摩滅	摩滅	7.3YR7.3K灰 10YR8/3浅黄 10YR8/3浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・赤 色を含む	良		
11	131	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[3.8]	摩滅	摩滅	5YR7.4K灰 5YR7.4K灰	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	132	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[2.9]	摩滅	摩滅	5YR7/6褐 5YR7/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	133	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	—	—	[9.3]	摩滅	摩滅	10YR8/3浅黄 7.5YR7.6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
11	134	S001(中層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(11.0)	—	[9.3]	摩滅	指押さえ・ 摩滅	10YR7/3K灰 7.5YR7/3K灰	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良		
12	135	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(11.4)	—	[7.2]	摩滅	指押さえ・ 摩滅	5YR6.6褐 5YR6.6褐	5YR6/4L5H 5YR6/4L5H	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	外端：黒斑有
12	136	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～胴部	(11.7)	—	[7.8]	摩滅	指押さえ・ 摩滅	7.5YR6.6褐 7.5YR6.6褐	7.5YR6/4L5H 7.5YR6/4L5H	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	137	S001(上層)	弥生土器	甕	底盤～ 胴部	—	—	[7.6]	摩滅	摩滅	10YR8/4浅黄 10YR8/4浅黄	10YR7/4L5H 10YR7/4L5H	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	138	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.0]	ナデ・摩滅	ナデ・摩滅	10YR6/4L5H 10YR6/4L5H	10YR5/1灰 10YR5/1灰	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	内端：黒斑有
12	139	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.5]	摩滅	摩滅	2.5YR8/4浅黄 2.5YR8/4浅黄	2.5YR8/4浅黄 2.5YR8/4浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	140	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.0]	摩滅	摩滅	10YR8/2K白 10YR8/2K白	10YR8/2K白 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	141	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.3]	摩滅	摩滅	10YR8/4L5H 10YR8/4L5H	10YR6/4L5H 10YR6/4L5H	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	142	S001(上層)	弥生土器	甕	底盤～ 胴部	—	—	[5.2]	摩滅	摩滅	5YR7/6褐 5YR7/6褐	5YR7/6褐 5YR7/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	143	S001(上層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(10.8)	—	[8.2]	摩滅	摩滅	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	10YR8/2K白 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	144	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.6)	—	[8.3]	タキキ・ナデ 指押さえ・摩 滅	タキキ・指 押さえ・摩 滅	10YR7/3K灰 10YR6/6明黄 10YR6/6明黄	10YR7/3K灰 2.5YR6/3浅黄 2.5YR6/3浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	145	S001(上 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(19.2)	—	[9.3]	タキキ・指 押さえ・摩 滅	タキキ・指 押さえ・摩 滅	10YR6/6明黄 2.5YR6/3浅黄	10YR6/6明黄 2.5YR6/3浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	146	S001(上 下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.2)	—	[10.8]	摩滅	ナデ	5YR7/6褐 5YR7/6褐	5YR7/6褐 5YR7/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	中継と下層で 隣接
12	147	S001(南側 壁根部分2)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[10.0]	ナデ・ナデ	ナデ・ナデ	10YR8/2K白 10YR8/2K白	10YR8/2K白 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	147と同一個体 か
12	148	S001(南側 壁根部分2)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.2]	タキキ・ナデ ナデ・ナデ	タキキ・ナデ ナデ・ナデ	10YR8/2K白 10YR8/2K白	10YR8/2K白 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	147と同一個体 か
12	149	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.0]	タキキ・ナデ ナデ	タキキ・ナデ ナデ	2.5YR8/4L5H 2.5YR8/4L5H	2.5YR8/4L5H 2.5YR8/4L5H	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	内端：黒斑有
12	150	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.4]	タキキ・ナデ	タキキ・ナデ	5YR7/6褐 5YR7/6褐	5YR7/6褐 5YR7/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	147と同一個体 か
12	151	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.8]	ナデ・ナデ	ナデ・ナデ	5YR6/6褐 5YR6/6褐	5YR7/6褐 5YR7/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	147と同一個体 か
12	152	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[3.3]	摩滅	摩滅	10YR7/3K灰 10YR6/4L5H	10YR6/4L5H 10YR6/4L5H	昔 を含む	2mmGL下の砂粒を含む	良	
12	153	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	底盤～ 胴部	—	—	[6.0]	タキキ	タキキ	5.5YR8/4明褐 5.5YR8/4明褐	10YR8/2K白 10YR8/2K白	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	154	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[4.1]	ナデ	摩滅	5.5YR8/4浅黄 5.5YR8/4浅黄	5.5YR8/4浅黄 5.5YR8/4浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	155	S001(南側 壁根部分)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.2]	摩滅	摩滅	5YR6/6褐 5YR6/6褐	5YR6/6褐 5YR6/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	156	S001(下層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.0]	摩滅	摩滅	10YR7/6褐 10YR7/6褐	10YR7/6褐 10YR7/6褐	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	157	S001(下層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[4.1]	ナデ	摩滅	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	昔 を含む	2mmGL下の石英・黄 色を含む	良	
12	158	S001(F 層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.9]	ナデ	摩滅	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	昔 を含む	中継と下層で 隣接	157と同一個体 か	
12	159	S001(中 層)	弥生土器	甕	口縁部	—	—	[8.0]	ナデ	摩滅	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	昔 を含む	157と同一個体 か		
12	160	S001(中 層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.8]	ナデ	摩滅	10YR7/3K灰 10YR6/6褐	10YR7/3K灰 10YR6/6褐	昔 を含む	157と同一個体 か		
12	161	S001(中 層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.5]	ナデ・摩滅	摩滅	5YR6/6褐 5YR6/6褐	5YR6/6褐 5YR6/6褐	昔 を含む	157と同一個体 か		
12	162	S001(中 層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.5]	ナデ	ナデ	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	10YR8/2浅黄 10YR8/2浅黄	昔 を含む	157と同一個体 か		
12	163	S001(中 層)	弥生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[6.1]	摩滅	摩滅	10YR7/6褐 10YR7/6褐	10YR7/6褐 10YR7/6褐	昔 を含む	157と同一個体 か		

第5表 土器概観表(5)

擇区 番号	遺物 番号	遺構名 /層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	備成	備考			
						口径	底径	器高	外面		内面						
									外側	内側	外側	内側					
12	164	S001(中・上層)	弔生土器	甕	口縁部	—	—	[3.4]	ナデ	ナデ・摩滅	10188.3/浅黄 緑	2.598/1黄灰 青	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
12	165	S001(中・下層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.2]	摩滅	摩滅	10188.3/浅黄 緑	10188.3/浅黄 緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
12	166	S001(中・ 上層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[6.9]	ナデ・指押さ え	摩滅	33YR6.6緑	10188.3/浅黄 緑	3mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	167	S001(中・ 下層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	[15.2]	—	[3.7]	ハケ目・摩滅	摩滅	10186.6/6明黄 緑	10186.6/6明黄 緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	168	S001(中・ 下層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	[22.2]	—	[4.8]	摩滅	摩滅	10185.4/2赤 10185.4/2赤	10185.4/2赤 10185.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	169	S001(中・ 下層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.8]	摩滅	摩滅	10188.4/浅黄 緑	10188.4/黄緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	170	S001(上・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.8]	摩滅	摩滅	10189.3/浅黄 緑	7.5987.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	171	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	[15.5]	—	[5.8]	摩滅	摩滅	7.5YR6.6緑	7.5186.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	172	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[8.0]	ハケ目・摩滅	摩滅	7.5YR6.6緑	7.5987.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	173	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.0]	ハケ目・摩滅	摩滅	5YR7.6緑	5YR7.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	174	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.4]	摩滅	摩滅	10189.6/6緑	10189.6/6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	175	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[6.0]	摩滅	摩滅	10186.4/2赤 10186.4/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	176	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.2]	摩滅	摩滅	10186.3/2赤 10186.3/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	177	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[4.7]	摩滅	摩滅	7.5YR7.6緑	5YR7.6緑	2mm以下の赤鉄・白 色含む				
13	178	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[7.1]	ナデ・摩滅	ナデ・指押さ え・摩滅	10187.4/2赤 10187.4/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	179	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.7]	摩滅	摩滅	10188.6/6緑	10188.6/6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良	174と同一箇体		
13	180	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[3.9]	摩滅	摩滅	10189.4/2白 10189.4/2白	10189.2/2白	2mm以下の赤鉄・白 色含む	良			
13	181	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[2.9]	ナデ・摩滅	摩滅	10186.4/2白 10186.4/2白	10188.4/2赤 10188.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	182	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁部	—	—	[2.4]	摩滅	ナデ・摩滅	7.5YR6.6緑	7.5986.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	183	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁部	—	—	[2.4]	摩滅	摩滅	5YR7.6緑	5YR7.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	184	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁部	—	—	[2.2]	ハケ目・ナデ	ナデ・摩滅	10186.4/2赤 10186.4/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の赤鉄・白 色含む	良			
13	185	S001(南側 腰壁部分)	弔生土器	甕	口縁部	—	—	[2.2]	ナデ・摩滅	摩滅	7.5YR6.6緑	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の赤鉄・白 色含む	良			
13	186	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(18.2)	—	[6.1]	ナデ	ナデ・指押さ え	10186.4/2赤 10186.4/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	187	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(16.6)	—	[6.6]	摩滅	摩滅	10186.4/2赤 10186.4/2赤	5YR6.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	188	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(13.0)	—	[3.6]	摩滅	摩滅	5M5.6明歩鉄	5M5.6明歩鉄	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	189	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(17.6)	—	[4.2]	ナデ	指押さえ・ 摩滅	7.5YR6.6/4/2 5.4緑	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の赤鉄・白 色含む	良			
13	190	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.1)	—	[4.1]	ナデ	ナデ・指押さ え	10186.4/2赤 10186.4/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	191	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.8)	—	[5.0]	ナデ・摩滅	摩滅	10185.4/2赤 10185.4/2赤	10186.4/2赤 10186.4/2赤	2mm以下の石系・黄 色含む	良	外函：媒付着		
13	192	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.0)	—	[7.3]	ナデ・ハケ目	指押さえ・ 摩滅	10187.4/6明黄 緑	10187.4/6明黄 緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	193	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.1)	—	[4.4]	摩滅	指押さえ・ 摩滅	7.5YR6.6緑	7.5186.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	194	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(12.4)	—	[2.9]	ナデ・摩滅	摩滅	10185.6/6緑	10185.6/6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	195	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[6.2]	摩滅	指押さえ・ 摩滅	5M5.6明歩鉄	7.5186.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
13	196	S001(下・ 中層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	—	—	[5.6]	ナデ・摩滅	ナデ・摩滅	7.5YR6.6緑	7.5186.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
14	197	S001(中・ 上層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(15.8)	—	[6.7]	ナデ	ナデ	7.5YR6.6緑	7.5186.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
14	198	S001(中・ 上層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(14.2)	—	[7.1]	摩滅	摩滅	10186.4/浅黄 緑	10186.4/浅黄 緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
14	199	S001(中・ 上層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(17.4)	—	[4.6]	摩滅	摩滅	10188.4/浅黄 緑	10188.4/浅黄 緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
14	200	S001(中・ 上層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(20.0)	—	[2.5]	摩滅	摩滅	10186.4/浅黄 緑	10186.4/浅黄 緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			
14	201	S001(中・ 下層)	弔生土器	甕	口縁～ 胴部	(11.8)	—	[3.6]	摩滅	摩滅	5YR7.6緑	5YR7.6緑	2mm以下の石系・黄 色含む	良			

第6表 土器観察表(6)

標団 番号	遺物 番号	遺物名 /層位	種類	器種	部位	測量(cm)		調整		色調		埴土	焼成	備考	
						口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面			
14	202	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[9.5]	厚底	厚底	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	203	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[4.7]	ナゲ・切目・厚底	ナゲ・厚 底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	1mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	204	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.8]	ハケ目・厚底	厚底	7.5YR8/6暗 褐色	7.5YR8/6暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	205	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.7]	ナゲ・厚底	厚底	7.5YR8/6明褐色	7.5YR8/6明褐色	普通	1mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	206	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[2.8]	厚底	厚底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	207	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[2.2]	ナゲ	ナゲ	7.5YR8/6暗 褐色	N3/3暗灰	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	208	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[2.2]	厚底	厚底	7.5YR8/6暗 褐色	7.5YR8/6暗 褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	209	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.5]	ナゲ・ナ・ハ ケ目・厚底	厚底	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	210	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[2.2]	厚底	厚底	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	211	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[2.0]	ナゲ・厚底	ナゲ・厚底	2.5YR7/3浅黄 褐色	2.5YR7/3浅黄 褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	212	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[4.2]	厚底	厚底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	213	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁部	(1.4)	—	[6.0]	厚底・ハケ目	厚底	7.5YR8/4	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	214	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	(17.2)	—	[3.4]	ナゲ・厚底	ナゲ・厚底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	215	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	(15.4)	—	[3.5]	ナゲ・厚底	ナゲ・厚底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	216	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	(14.2)	—	[2.7]	ナゲ・厚底	ナゲ・厚底	7.5YR8/6暗 褐色	7.5YR8/6暗 褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	217	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.2]	厚底・横ナ ギ・ハケ目	横ナギ・厚 底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	218	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[5.2]	厚底・横ナ ギ	厚底	7.5YR8/6明 褐色	7.5YR8/6明 褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	219	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.2]	厚底・ナ ギ・ハケ目	横ナギ・ナ ギ	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	220	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.1]	横ナギ・厚 底	横ナギ・厚 底	7.5YR8/6明褐色	7.5YR8/6明褐色	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	221	S001(中・下層)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[3.1]	横ナギ・ハ ケ目	横ナギ・厚 底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の中英・黄 色・赤色を含む	良
14	222	S001(上 層)	弥生土器	便	口縁～脚部	(16.6)	—	[5.0]	横ナギ・ハ ケ目	横ナギ・厚 底	7.5YR8/6暗 褐色	7.5YR8/6暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	223	S001(上 層)	弥生土器	便	口縁～脚部	(5.6)	—	[5.1]	ナゲ・厚底	ナゲ・厚底	10YR6/4に赤 い黄褐色	10YR6/4に赤 い黄褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	224	S001(上 層)	弥生土器	便	口縁～脚部	(14.0)	—	[4.9]	横ナギ・厚 底	横ナギ・厚 底	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
14	225	S001(上 層部分)	弥生土器	便	口縁～脚部	—	—	[4.9]	横ナギ・ナ ギ・厚底	横ナギ・ナ ギ	7.5YR8/4に赤 い焼	7.5YR8/4に赤 い焼	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	226	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	(22.4)	—	[7.7]	厚底	厚底	8YR5.6明褐色	8YR5.6明褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	227	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	(23.4)	—	[4.6]	厚底	厚底	8YR6/6暗 褐色	8YR6/6暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	228	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	(27.6)	—	[3.6]	厚底	厚底	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	229	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	(23.6)	—	[2.2]	厚底	厚底	7.5YR7/6暗 褐色	5YR7/6暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	230	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	(18.6)	—	[1.7]	厚底	厚底	10YR8/3浅黄 褐色	10YR8/3浅黄 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	231	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	(13.8)	—	[1.6]	厚底	厚底	10YR8/6暗 褐色	5YR6/8暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	232	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[4.7]	厚底	厚底	8YR7/8暗 褐色	5YR6/6暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	233	S001(南側 壁部部分)	弥生土器	便	口縁部	—	—	[2.5]	厚底	厚底	10YR7/4に赤 い焼	7.5YR7/6暗 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	234	S001(下 層)	弥生土器	便	口縁部	(28.2)	—	[9.3]	厚底	厚底	7.5YR8/4浅黄 褐色	7.5YR8/4浅黄 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	235	S001(Y 層)	弥生土器	便	口縁部	28.0	—	[6.8]	厚底	厚底	SYR7/4に赤 い焼	SYR7/4に赤 い焼	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	236	S001(Y 層)	弥生土器	便	口縁部	(19.6)	—	[4.2]	ナゲ	ナゲ	7.5YR7/4に赤 い焼	10YR8/3浅黄 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	237	S001(Y 層)	弥生土器	便	口縁部	(17.0)	—	[2.8]	厚底	厚底	10YR8/6暗黄 褐色	10YR8/6暗黄 褐色	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良
15	238	S001(Y 層)	弥生土器	便	口縁部	(22.0)	—	[3.6]	ナゲ・刺突文	ナゲ	10YR8/6明黄 褐色	10YR7/3に赤 い焼	普通	2mm以下の石英・黄 色・赤色を含む	良

第7表 土器観察表(7)

埠区 番号	遺物 番号	遺構名 /層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	焼成	備考			
						口径	底径	器高	外面		内面						
									外縁	内縁	外縁	内縁					
15	239	S001 (下 層)	弥生土器	壺	口縁部	(22.0)	—	[3.7]	摩滅	摩滅	10YR8/3浅黄 褐	10YR8/4浅黄 褐	青 10YR8/3の右側・黄 色。10YR8/4の左側を 含む	良			
15	240	S001 (下 層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[2.2]	ナデ	ナデ	10YR8/3に左 側透視	10YR8/2灰白	青 10YR8/3の右側・黄 色。10YR8/2の左側を 含む	良			
15	241	S001 (下 層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[1.6]	ナデ・單底	摩滅	10YR8/3に左 側透視	10YR8/3に左 側透視	青 10YR8/3の右側・黄 色。10YR8/3の左側を 含む	良			
15	242	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縁部	(29.6)	—	[4.1]	摩滅	摩滅	7.5YR7/6暗	7.5YR7/6暗	青 7.5YR7/6の右側・黄 色。7.5YR7/6の左側を 含む	良			
15	243	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	(20.9)	—	[5.3]	ナデ	ナデ・摩滅	10YR8/2灰白	10YR8/2灰白	青 10YR8/2の右側・黄 色。10YR8/2の左側を 含む	良			
15	244	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	(21.2)	—	[3.5]	ナデ	ナデ	7.5YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/2灰白	青 7.5YR8/4の右側・黄 色。7.5YR8/4の左側を 含む	良			
15	245	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	(15.8)	—	[3.7]	摩滅	摩滅	7.5YR8/6浅黄 褐	7.5YR8/6浅黄 褐	青 7.5YR8/6の右側・黄 色。7.5YR8/6の左側を 含む	良			
15	246	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	(16.6)	—	[3.7]	ナデ	ナデ	10YR8/3浅黄 褐	10YR8/3浅黄 褐	青 10YR8/3の右側・黄 色。10YR8/3の左側を 含む	良			
15	247	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	(13.7)	—	[1.8]	摩滅	ナデ	7.5YR8/4E2.5 1.5暗	7.5YR8/4E2.5 1.5暗	青 7.5YR8/4E2.5の右側・黄 色。7.5YR8/4E2.5の左側を 含む	良			
15	248	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[5.0]	ナデ	ナデ	2.5Y7/3浅黄	2.5Y7/3浅黄	青 2.5Y7/3の右側・黄 色。2.5Y7/3の左側を 含む	良	内面: 黒斑有		
15	249	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[3.7]	ナデ・摩滅	ナデ・指痕 压込むナデ	2.5Y7/3浅黄	2.5Y7/3浅黄	青 2.5Y7/3の右側・黄 色。2.5Y7/3の左側を 含む	良	内面: 黑斑有 2.5Y7/3と同一個体 良		
15	250	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[2.7]	ナデ	ナデ	10YR8/2灰白	10YR8/2灰白	青 10YR8/2の右側・黄 色。10YR8/2の左側を 含む	良	内面: 黑斑有		
15	251	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[2.6]	摩滅	摩滅	7.5YR7/6暗	7.5YR7/6暗	青 7.5YR7/6の右側・黄 色。7.5YR7/6の左側を 含む	良			
15	252	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縁部	—	—	[1.8]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/3E2.5 1.5暗	青 10YR8/3の右側・黄 色。10YR8/3の左側を 含む	良			
15	253	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(18.0)	—	[7.5]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4浅黄 褐	10YR8/3E2.5 1.5暗	青 10YR8/3の右側・黄 色。10YR8/3の左側を 含む	良			
15	254	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縁部	(21.6)	—	[5.9]	ハケ目・ナ デ・摩滅	ハケ目・ナ デ・摩滅	10YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/3浅黄 褐	青 10YR8/4E2.5の右側・黄 色。10YR8/4E2.5の左側を 含む	良			
15	255	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(22.0)	—	[5.5]	摩滅	摩滅	7.5YR7/6暗	7.5YR7/6暗	青 7.5YR7/6の右側・黄 色。7.5YR7/6の左側を 含む	良			
16	256	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(17.0)	—	[5.5]	摩滅	摩滅	10YR8/2灰白	10YR8/2灰白	青 10YR8/2の右側・黄 色。10YR8/2の左側を 含む	良			
16	257	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(18.0)	—	[4.9]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4灰白 暗	10YR8/4灰白 暗	青 10YR8/4の右側・黄 色。10YR8/4の左側を 含む	良			
16	258	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[2.3]	摩滅	ナデ	SYR5/6明赤褐	SYR5/6明赤褐	青 SYR5/6の右側・黄 色。SYR5/6の左側を 含む	良			
16	259	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[3.3]	摩滅	摩滅	10YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/3E2.5 1.5暗	青 10YR8/3E2.5の右側・黄 色。10YR8/3E2.5の左側を 含む	良			
16	260	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(14.9)	—	[10.2]	摩滅	摩滅	SYR7/6暗	SYR7/6暗	青 SYR7/6の右側・黄 色。SYR7/6の左側を 含む	良			
16	261	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(14.8)	—	[6.8]	ナデ	ハケ目・ナ デ	SYR6/6暗	SYR6/6暗	青 SYR6/6の右側・黄 色。SYR6/6の左側を 含む	良			
16	262	S001 (南 側壁部分)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(11.2)	—	[5.3]	摩滅	ナデ・摩滅	7.5YR7/6暗	7.5YR7/6暗	青 7.5YR7/6の右側・黄 色。7.5YR7/6の左側を 含む	良			
16	263	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(17.7)	—	[5.2]	摩滅	摩滅	SYR7/6暗	SYR7/6暗	青 SYR7/6の右側・黄 色。SYR7/6の左側を 含む	良			
16	264	S001 (南 側壁部分)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(13.0)	—	[3.9]	摩滅	摩滅	10YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/4E2.5 1.5暗	青 10YR8/4E2.5の右側・黄 色。10YR8/4E2.5の左側を 含む	良			
16	265	S001 (下 層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[8.9]	ハケ目・摩 滅	ナデ	7.5YR5/6明暗	10YR8/3E2.5 1.5暗	青 10YR8/3E2.5の右側・黄 色。10YR8/3E2.5の左側を 含む	良			
16	266	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[8.1]	摩滅	摩滅	SYR5/6暗	SYR5/6暗	青 SYR5/6の右側・黄 色。SYR5/6の左側を 含む	良			
16	267	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[6.6]	ハケ目・ナ デ	ナデ	10YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/4E2.5 1.5暗	青 10YR8/4E2.5の右側・黄 色。10YR8/4E2.5の左側を 含む	良			
16	268	S001 (中 上層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[5.5]	摩滅	摩滅	10YR8/2灰白	10YR8/2灰白	青 10YR8/2の右側・黄 色。10YR8/2の左側を 含む	良			
16	269	S001 (南 側壁部分)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[5.9]	摩滅	摩滅	SYR7/6暗	SYR7/6暗	青 SYR7/6の右側・黄 色。SYR7/6の左側を 含む	良			
16	270	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[4.3]	指押さえ・ナ デ	ナデ	SYR7/6暗	SYR7/6暗	青 SYR7/6の右側・黄 色。SYR7/6の左側を 含む	良			
16	271	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(16.0)	—	[14.4]	摩滅	指押さえ	SYR7/6暗	SYR7/6暗	青 SYR7/6の右側・黄 色。SYR7/6の左側を 含む	良			
16	272	S001 (下 層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	13.8	—	[9.2]	ハケ目・ナ デ	ナデ	7.5YR7/6暗	10YR7/4E2.5 1.5暗	青 10YR7/4E2.5の右側・黄 色。10YR7/4E2.5の左側を 含む	良	外面: 黑斑有		
16	273	S001 (南 側壁部分)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(15.0)	—	[4.1]	摩滅	摩滅	SYR8/2灰白	SYR8/2灰白	青 SYR8/2の右側・黄 色。SYR8/2の左側を 含む	良			
16	274	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(14.8)	—	[14.4]	摩滅	摩滅	10YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/4E2.5 1.5暗	青 10YR8/4E2.5の右側・黄 色。10YR8/4E2.5の左側を 含む	良			
16	275	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(16.0)	—	[4.6]	摩滅	摩滅	7.5YR7/6暗	10YR8/4E2.5 1.5暗	青 10YR8/4E2.5の右側・黄 色。10YR8/4E2.5の左側を 含む	良			
16	276	S001 (南 側壁部分)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[11.1]	ハケ目・摩 滅	摩滅	10YR8/4E2.5 1.5暗	10YR8/3E2.5 1.5暗	青 10YR8/3E2.5の右側・黄 色。10YR8/3E2.5の左側を 含む	良			
16	277	S001 (下 層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	—	—	[2.8]	ナデ	ナデ・摩滅	10YR8/3E2.5 1.5暗	10YR8/3E2.5 1.5暗	青 10YR8/3E2.5の右側・黄 色。10YR8/3E2.5の左側を 含む	良	外面: 黑斑有		
16	278	S001 (中 下層)	弥生土器	壺	口縫~ 底部	(11.0)	—	[3.5]	摩滅	摩滅	10YR8/2灰白	10YR8/2灰白	青 10YR8/2の右側・黄 色。10YR8/2の左側を 含む	良			

第8表 土器観察表(8)

揮園 番号	遺物 番号	遺構名 /層位	種類	器種	部位	測量(cm)		調整		色調		粘土	焼成	備考		
						口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面				
17	279	S001(中 層)	弥生土器	壺	口縁～ 底部	—	[8.3]	厚底	厚底	10YR6/4C2,不 規則	10YR6/6明黄	青	4mm以下の石英・黃 石を含む。	良		
17	280	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	壺	口縁部	—	[5.6]	厚底	ナデ	10YR6/4C1,不 規則	10YR6/6明黄	青	21mm以下の石英・黃 石を含む。	良		
17	281	S001(中 層)	弥生土器	壺	口縁～ 底部	(20.0)	—	[10.6]	ハケ目・ナデ	ナデ	10YR6/3C1,不 規則	10YR6/3C2,不 規則	青	3mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
17	282	S001(中 層)	弥生土器	壺	口縁部	(27.2)	—	[3.0]	厚底	厚底	10YR6/6暗	2, 5YR6/8暗	青	6mm以下の石英・黃 石を含む。	良	
17	283	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	壺	口縁部	(22.4)	—	[1.8]	ナデ	ナデ	10YR6/3C1,不 規則	10YR6/3C2,不 規則	青	3mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
17	284	S001(中 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(29.6)	—	[9.3]	押さえ・厚 底	厚底	7, 5YR6/6暗	10YR7/4C2,不 規則	青	2mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	外画面有
17	285	S001(中 下層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(25.6)	—	[8.1]	厚底	厚底	9YR6/6暗	2, 5YR6/6暗	青	2mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
17	286	S001(下 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	—	[5.5]	厚底	厚底	10YR7/3C2,不 規則	10YR7/3C2,不 規則	青	2mm以下の石英を含む。	良	内画面無	
17	287	S001(下 層)	弥生土器	杯	全形	(23.8)	—	7.2	厚底	厚底	10YR6/6明黄	7, 5YR6/6相	青	6mm以下の石英・黃 石を含む。	良	
17	288	S001(下 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(16.8)	—	[5.4]	厚底	厚底	7, 5YR6/6暗	7, 5YR6/6明黄	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
17	289	S001(下 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(18.0)	—	[4.2]	厚底	厚底	9YR7/6暗	7, 5YR6/6浅黄	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
17	290	S001(下 層)	弥生土器	杯	全形	12.6	2.9	4.4	ナデ	ナデ	9YR7/6暗	10YR6/3C2,不 規則	青	6mm以下の石英を含む。	良	
17	291	S001(中 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(39.6)	—	[5.7]	厚底	厚底	7, 5YR6/4C1,不 規則	7, 5YR6/4C1,不 規則	青	2mm以下の石英・金銀 母・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
17	292	S001(中 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(21.0)	—	[5.5]	厚底	厚底	10YR6/4C2,不 規則	10YR6/4C2,不 規則	青	2mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	内画面無
17	293	S001(中 下層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(20.5)	—	[4.8]	タカキ・ナデ	ナデ	7, 5YR6/6浅黄	7, 5YR6/6浅黄	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
17	294	S001(上 層)	弥生土器	杯	口縁～ 底部	(14.8)	—	[2.7]	ナデ	厚底	7, 5YR6/4C1,不 規則	10YR6/4C2,不 規則	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
17	295	S001(中 下層)	弥生土器	杯	口縁部	—	[2.4]	厚底	ナデ	ナデ	10YR6/1陶X	10YR6/4浅黄	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
17	296	S001(中 下層)	弥生土器	杯	口縁部	—	[2.3]	ナデ・厚底	ナデ・厚底	10YR6/3C2,不 規則	7, 5YR6/6暗	青	2mm以下の石英・黃 石を含む。	良		
17	297	S001(中 下層)	弥生土器	杯	口縁部	—	[1.8]	厚底	厚底	9YR6/6相	7, 5YR6/6明相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良		
17	298	S001(中 層)	弥生土器	大型杯	口縁部	(37.4)	—	[5.8]	ナデ	ナデ	9YR6/6相	9YR6/6相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
17	299	S001(中 層)	弥生土器	大型杯	口縁～ 底部	—	[8.4]	厚底	ナデ	ナデ	7, 5YR6/6相	7, 5YR6/6相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
17	300	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	大型杯	口縁部	—	[5.7]	厚底	ナデ	ナデ	9YR6/6明相	9YR6/6明相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
18	301	S001(下 層)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	(21.3)	—	[5.0]	厚底	ヘラミガ ナ・ナデ	9YR5/6赤赤	9YR5/6赤赤	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
18	302	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	(21.2)	—	[5.0]	ナデ・厚底	ナデ	7, 5YR6/6明相	7, 5YR6/6明相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
18	303	S001(中 層)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[5.2]	ナデ	ナデ・厚底	ナデ・厚底	9YR6/6浅黄	9YR6/6浅黄	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
18	304	S001(下 層)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[5.1]	ナデ	ハケ目・ ナデ	ナデ	7, 5YR6/4C1,不 規則	10YR6/4C1,不 規則	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	
18	305	S001(中 下層)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[5.1]	ハケ目・厚底	ナデ	2, 5YR6/6浅黄	2, 5YR6/6浅黄	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良	外画面無	
18	306	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[5.7]	厚底	厚底	7, 5YR6/6相	7, 5YR6/6相	青	6mm以下の赤色鉄 を含む。	良		
18	307	S001(中 下層)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[5.0]	ナデ	ナデ	10YR6/4C2白	10YR6/4C2白	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良		
18	308	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	(18.8)	—	[5.5]	厚底	ナデ	7, 5YR6/4C2,不 規則	7, 5YR6/4C2,不 規則	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄を含む。	良	
18	309	S001(上 層)	弥生土器	高杯	口縁部	—	[3.6]	ナデ・厚底	厚底	9YR7/4C1,不 規則	10YR7/2C1,不 規則	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		
18	310	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[8.3]	ナデ・厚底	厚底	10YR6/4C2白	10YR6/4C2白	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		
18	311	S001(上 層)	弥生土器	高杯	口縁～ 杯脚	—	[7.1]	厚底	厚底	9YR6/6相	9YR6/6相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		
18	312	S001(下 層)	弥生土器	高杯	口縁部	—	[4.3]	厚底	厚底	7, 5YR6/6相	7, 5YR6/6相	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		
18	313	S001(南側 縫隙部分)	弥生土器	高杯	脚部	(18.8)	[9.2]	ハケ目・ナ デ	厚底	10YR6/4C2白	10YR6/4C2白	青	6mm以下の赤色 鉄・黃石・石英を含む。	良	内画面から外画面 へ穿孔箇箇所が	
18	314	S001(上 層)	弥生土器	高杯	脚部	(12.0)	[5.0]	厚底	厚底	7, 5YR6/4C2白	10YR6/4C2白	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		
18	315	S001(中 下層)	弥生土器	高杯	脚部	(11.2)	[5.4]	厚底	厚底	7, 5YR6/4C2白	10YR6/4C2白	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		
18	316	S001(中 下層)	弥生土器	高杯	脚部	—	[6.1]	ハケ目・ナ デ	厚底	7, 5YR7/4C1,不 規則	10YR7/4C2白	青	6mm以下の石英・黃 石・赤色鉄・黑色鉻 を含む。	良		

第9表 土器概察表(9)

探査番号	遺物番号	造形名・層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	焼成	備考	
						口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面			
18	317	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	高杯	脚部	—	—	[8.9]	摩滅	ハケ口・級 り目・脚	10YR8/2灰白 相	10YR8/3浅黄 青	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外面: 黒斑有
18	318	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	高杯	脚部	—	—	[8.6]	摩滅	ハケ口・級 り目・脚	2.5YR8/4浅黄 相	5YR8/6暗 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	
18	319	S001 (中・ 上層)	弥生土器	高杯	脚部	—	—	[5.4]	摩滅	級り目・脚	SIYR7/6暗 相	10YR8/4浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	
18	320	S001 (中・ 上層)	弥生土器	高杯	脚部	—	—	[3.9]	摩滅	摩滅	10YR8/4浅黄 相	10YR8/3浅黄 青	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	
18	321	S001 (中・ 下層)	弥生土器	台付鉢	脚部	(6.3)	[6.9]	摩滅	級り目・脚	10YR8/6明黄 相	5YR8/6暗 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良		
18	322	S001 (中・ 下層)	弥生土器	台付鉢	脚部	(10.2)	[13.9]	摩滅	摩滅	2.5YR8/3浅黄 相	10YR8/2灰白 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	円形溝か1.7分 厚	
19	323	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.3	[13.4]	摩滅	指押さし・ 摩滅	2.5YR8/3浅黄 相	10YR8/2灰白 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 穿孔1個
19	324	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	(1.5)	[12.4]	ハケ口・摩滅	ナデ・摩滅	5YR8/6暗 相	10YR8/3浅黄 青	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 穿孔1個	
19	325	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.0	[11.3]	ナデ	ナデ	10YR8/3浅黄 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 穿孔1個
19	326	S001 (中・ 下層)	弥生土器	瓶	底部	—	0.8	[13.1]	タタキ・ナデ	ハケ口・ナ デ	2.5YR8/2灰白 相	2.5YR8/2灰白 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 穿孔1個
19	327	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	1.8	[9.3]	タタキ	ハケ口・ナ デ	10YR8/3浅黄 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	1~5mmの小孔の 外周 に、石英、長石を含 む
19	328	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.2	[9.0]	タタキ・ナデ	ナデ	2.5YR8/7/2灰 相	10YR8/7/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 黑斑有 穿孔1個
19	329	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	1.3	[6.0]	摩滅	摩滅	10YR8/2/2灰 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	底部: 穿孔1個
19	330	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	(1.0)	[6.4]	摩滅	摩滅	2.5YR8/4/2灰 相	10YR8/4/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	底部: 穿孔1個	
19	331	S001 (中・ 下層)	弥生土器	瓶	底部	—	—	[6.7]	タタキ・ナデ	摩滅	10YR8/2灰白 相	7.0YR8/6明暗 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	底部: 穿孔1個
19	332	S001 (中・ 下層)	弥生土器	瓶	底部	—	—	[5.1]	タタキ	摩滅	2.5YR8/3灰白 相	2.5YR8/4/1灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 穿孔1個
19	333	S001 (上 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.4	[3.9]	タタキ・摩滅	摩滅	10YR8/2灰白 相	10YR8/2灰白 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有 内部: 黑斑有 穿孔1個
19	334	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	1.0	[3.1]	摩滅	摩滅	10YR8/4/2灰 相	10YR8/4/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	底部: 穿孔1個
19	335	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	2.0	[2.4]	タタキ・摩滅	指押さし・ 摩滅	10YR8/4/2灰 相	10YR8/4/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	底部: 穿孔1個
19	336	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	—	[7.0]	ハケ口	ハケ口	5YR8/6暗 相	10YR8/4浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	外表面: 黒斑有
19	337	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	1.7	[5.6]	タタキ・摩滅	摩滅	5YR7/8暗 相	2.5YR8/4灰暗 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黑斑有
19	338	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	2.7	[2.7]	ハケ口・摩滅	摩滅	2.5YR8/6灰白 相	2.5YR8/6灰白 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	339	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	3.2	[3.0]	タタキ	摩滅	2.5YR7/3浅黄 相	2.5YR7/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	340	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	2.6	[2.6]	摩滅	摩滅	10YR8/4/2灰 相	10YR8/4/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	341	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	(4.8)	[2.5]	摩滅	摩滅	10YR8/3浅黄 相	7.5YR7/2/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	342	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	4.0	[2.2]	タタキ	摩滅	2.5YR8/6暗 相	2.5YR8/6暗 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	343	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	6.2	[2.6]	ヘラミガキ	摩滅	10YR8/4/2灰 相	10YR8/4/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	内表面: 黑斑有
19	344	S001 (南側 縦埋部分)	弥生土器	瓶	底部	—	(3.0)	[6.2]	摩滅	ナデ	2.5YR8/7/4/2灰 相	2.5YR8/7/4/2灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	345	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	5.0	[5.2]	摩滅	ハケ口・ナ デ	10YR8/1崩闊 相	10YR8/4浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有
19	346	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	4.8	[5.9]	摩滅	摩滅	2.5YR8/6暗 相	2.5YR8/6暗 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	外表面: 黒斑有
19	347	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.5	[9.0]	ハケ口・摩滅	摩滅	2.5YR7/3/2灰 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	348	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	0.5	[9.0]	摩滅	摩滅	2.5YR7/3/2灰 相	2.5YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
19	349	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	3.0	[9.1]	摩滅	摩滅	10YR8/3浅黄 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
20	350	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	4.0	[7.4]	ナデ	ナデ	10YR8/3浅黄 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	内表面: 黑斑有
20	351	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.2	[6.2]	ナデ・摩滅	ハケ口・摩 滅	2.5YR8/3浅黄 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	内表面: 黑斑有
20	352	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.6	[4.8]	摩滅	摩滅	2.5YR8/6暗 相	2.5YR8/1崩闊 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	内表面: 黑斑有
20	353	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	3.0	[4.9]	タタキ・摩滅	摩滅	10YR8/2/2灰 相	2.5YR8/4/1灰 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
20	354	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.1	[3.9]	タタキ・摩滅	摩滅	10YR8/2灰白 相	10YR8/2灰白 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
20	355	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	2.6	[3.2]	摩滅	ナデ	2.5YR8/3/2灰 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱・褐色粘 土を含む	良	内表面: 黑斑有
20	356	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	3.6	[4.2]	ハケ口・ナデ	摩滅	SIYR5/6明赤 相	10YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有
20	357	S001 (下 層)	弥生土器	瓶	底部	—	—	[3.8]	摩滅	摩滅	2.5YR8/3浅黄 相	2.5YR8/3浅黄 相	胎土以下の石英・黄 石・赤鉄鉱を含む	良	内表面: 黑斑有

第10表 土器観察表(10)

探査番号	遺物番号	遺構名/層位	種類	器種	部位	測量(cm)		調整		色調		粘土	焼成	備考	
						口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面			
20	358	S001(下層)	弥生土器	底部	—	3.2	[3.3]	厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL以下の石英・黄 色を含む	良	
20	359	S001(下 層)	弥生土器	底部	—	2.0	[3.3]	ナデ	ナデ	10.07/21.5	10.07/21.5	青	3mGL以下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	360	S001(下 層)	弥生土器	底部	—	1.8	[2.1]	厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL以下の石英・黄 色を含む	良	
20	361	S001(下 層)	弥生土器	底部	—	2.9	[2.2]	厚底	ナデ	10.08R/25白	10.08R/25白	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	362	S001(下 層)	弥生土器	底部	(2.0)	[4.1]	押さえ・ナ デ	ナデ	10.08R/4浅黄 緑	10.08R/4浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有	
20	363	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	3.3	[9.2]	タタキ・厚底	厚底	2.5YR/25白	2.5YR/25白	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 深化、 黒斑有
20	364	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	—	[8.3]	ハケ目	厚底	7.5YR/7.3 シルバ	10.08R/25白	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	365	S001(中 下層)	弥生土器	底部	(3.0)	[7.5]	ハケ目・厚底	厚底	7.5YR/6相	10.08R/25黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有	
20	366	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	[6.4]	厚底	押さえ・ナ デ	ナデ	7.5YR/6相	7.5YR/6相	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	367	S001(中 下層)	弥生土器	底部	(5.3)	[6.0]	厚底	厚底	7.5YR/6相	10.08R/4浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有	
20	368	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	(4.4)	[7.0]	厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
20	369	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	—	[5.8]	厚底	ナデ	10.08R/3浅黄 緑	2.5YR/1黄(赤) 色	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有
20	370	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	2.9	[6.2]	厚底	厚底	2.5YR/6相	10.07/2.5 シルバ	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有
20	371	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	—	[3.0]	ナデ	ナデ	10.08R/25白	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	372	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	2.6	[3.8]	厚底	厚底	10.07/31.5 シルバ	7.5YR/41シ ルバ	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
20	373	S001(中 下層)	弥生土器	底部	(5.4)	[3.8]	厚底	厚底	7.5YR/6相	5.5YR/4明褐色	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有	
20	374	S001(中 下層)	弥生土器	底部	(2.8)	[2.2]	厚底	ナデ	7.5YR/6相	5.5YR/4相	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有	
20	375	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	6.0	[3.7]	ナデ・厚底	ハケ目	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	376	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	(2.4)	[7.4]	ハケ目・ナ デ・厚底	ナデ・厚底	2.5YR/3浅黄 緑	2.5YR/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有
20	377	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	2.0	[6.3]	ハケ目・厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	5.0YR/1灰	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	378	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	4.7	[5.3]	ハケ目・ナデ	ナデ	7.5YR/3浅黄 緑	10.08R/4浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	379	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	1.6	[5.2]	厚底	厚底	9.0YR/41.5シ ルバ	7.5YR/7.1明褐 色	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有
20	380	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	1.5	[4.8]	厚底	ナデ	7.5YR/8.3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
20	381	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	3.1	[4.3]	厚底	厚底	7.5YR/6相	7.5YR/6相	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
20	382	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	(2.2)	[5.4]	厚底	厚底	10.08R/4浅黄 緑	10.08R/4浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	383	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	3.1	[3.7]	厚底	押さえ・厚 底	10.06/3浅黄 緑	10.08R/1灰	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	384	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	1.5	[4.1]	厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有
20	385	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	2.6	[3.9]	ハケ目・ナ デ	ナデ	10.07/2.5シ ルバ	10.08R/2.5シ ルバ	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	内泊: 黒斑有
20	386	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	2.6	[4.2]	ハケ目・厚底	ハケ目・厚底	9.0YR/3.5シ ルバ	10.08R/3.5シ ルバ	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	387	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	3.1	[3.6]	押さえ・厚 底	ナデ	10.08R/25白	10.08R/25白	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	388	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	3.0	[2.6]	厚底	厚底	10.08R/25白	10.08R/4浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	389	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	3.4	[2.5]	厚底	厚底	9.0YR/41.5シ ルバ	5.0YR/41.5シ ルバ	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	390	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	(4.2)	[2.6]	厚底	ハケ目・厚 底	10.08R/3浅黄 緑	7.5YR/6明褐 色	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
20	391	S001(中 下層)	弥生土器	底部	—	(3.2)	[3.2]	厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
21	392	S001(上 層)	弥生土器	底部	—	(3.6)	[6.7]	ハケ目	押さえ・ナ デ	7.5YR/6相	10.08R/6相	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	外泊: 黒斑有
21	393	S001(上 層)	弥生土器	杯口	(16.3)	—	[3.3]	ナデ・厚底	厚底	9.0YR/6相	10.08R/25白	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
21	394	S001(中 上層)	弥生土器	支脚	—	—	[5.5]	厚底	厚底	10.08R/3浅黄 緑	10.08R/3浅黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
21	395	S001(中 上層)	製陶土器	脚部	—	4.4	[3.1]	厚底	厚底	9.0YR/6相	7.5YR/6相	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
21	396	S001(中 上層)	製陶土器	脚部	—	(4.4)	[3.4]	厚底	厚底	9.0YR/3.5シ ルバ	10.08R/4.5シ ルバ	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	
21	397	S001(中 上層)	製陶土器	脚部	—	(4.0)	[2.2]	厚底	厚底	10.08/6明黄 緑	10.07/6明黄 緑	青	3mGL下の石英・黄 色を含む	良	

第11表 土器概観表(11)

探査番号	遺物番号	遺構名/層位	種類	器種	部位	法量(cm)		調整		色調		胎土	焼成	備考		
						口径	底径	器高	外面	内面	外側	内側				
21	398	S001 (南側 壁部) (部分)	弥生土器	脚部	—	—	[1.7]	摩滅	摩滅	7.5YR6/6暗	7.5YR6/6暗	青 石・赤鉄色を含む	良			
21	399	S001 (南側 壁部) (部分)	弥生土器	小口部	全形	—	—	[4.9]	摩滅	摩滅	10YR7/3H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
21	400	S001 (南側 壁部) (部分)	弥生土器	小口部	脚部	—	2.5	[5.9]	ナデ	ナデ	7.5YR6/3H2.5	10YR7/2H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
21	401	S001 (南側 壁部) (部分)	弥生土器	底	口縁部	—	—	[3.3]	摩滅	摩滅	10YR7/4H2.5	10YR8/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	吉備型兼	
22	402	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[11.1]	—	[10.0]	タクホ・ハケ 目	ハケ目・摩滅	10YR6/4H2.5	10YR6/4H2.5	青 石・赤鉄色を含む	良		
22	403	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[10.6]	—	[9.1]	タクホ	摩滅	5YR6/8H2.5	5YR7/2H2.5	青 石以下の長石、赤石 を含む	良		
22	404	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[13.6]	—	[3.2]	摩滅	指押さし・ 摩滅	10YR7/3H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	405	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[12.9]	—	[3.3]	摩滅	ハケ目・指 押さし・摩滅	10YR8/3浅黄	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	406	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	—	—	[4.1]	摩滅	摩滅	7.5YR6/6暗	10YR7/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	407	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	—	—	[2.8]	摩滅	摩滅	7.5YR6/6暗	10YR7/3H2.5	青 石以下の石英、赤色 を含む	良		
22	408	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	—	—	[2.4]	ナデ	摩滅	10YR5/3H2.5	10YR5/3H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	409	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	—	—	[3.8]	タクホ・摩滅	ハケ目・摩 滅	10YR6/8暗	10YR6/8暗	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	410	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[5.4]	—	[12.3]	ハケ目・ナデ	ハフリ・ナデ	10YR6/4H2.5	10YR6/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	411	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[14.4]	—	[4.3]	ハケ目・ナデ	ナデ	10YR5/4H2.5	10YR6/4H2.5	青 石以下の石英、金 剛石を含む	良		
22	412	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	[15.6]	—	[5.2]	ハケ目・摩滅	指押さし・ 摩滅	10YR6/4H2.5	10YR6/6H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	413	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	—	—	[6.3]	摩滅	指押さし・ 摩滅	7.5YR6/6暗	7.5YR6/6明暗	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	414	谷理工大学	弥生土器	底	口縁部	—	—	[1.5]	摩滅	摩滅	7.5YR8/4浅黄	7.5YR8/4浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	415	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	[24.6]	—	[4.1]	ナデ	ナデ	10YR5/3H2.5	10YR6/4H2.5	青 石以下の石英、金 剛石・赤褐色を含む	良		
22	416	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	(20.4)	—	[4.1]	摩滅	ナデ・摩滅	5YR6/6暗	5YR6/6暗	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	417	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	(43.8)	—	[7.1]	ナデ・摩滅	ナデ	10YR7/3H2.5	10YR7/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石・赤色 を含む	良	表面：黒斑有	
22	418	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	—	—	[5.7]	ナデ・摩滅	ナデ・摩滅	10YR7/3H2.5	10YR6/6H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良		
22	419	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	—	—	[4.4]	ナデ	ナデ	10YR6/4H2.5	10YR6/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良		
22	420	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	—	—	[4.3]	ナデ・摩滅	ナデ・摩滅	2.5YR6/6暗	7.5YR6/6暗	青 石以下の石英、黄 石を含む	良		
22	421	谷理工大学	弥生土器	高杯or 盆	口縁部	—	—	[3.5]	ナデ	ナデ	10YR6/6明黄	10YR7/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良		
22	422	谷理工大学	弥生土器	底部	—	[3.9]	[7.3]	摩滅	ハケ目	—	2.5YR7/3H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石・赤鉄色を含む	良	表面：黒斑有	
22	423	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	2.5	[6.8]	ハケ目	ナデ	10YR8/2H2.5	10YR7/2H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有	
22	424	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	[4.6]	ハケ目・ナデ	ナデ	10YR7/3H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有		
22	425	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	2.4	[3.5]	タクホ・摩滅	ハケ目	10YR8/2H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良		
22	426	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	1.6	[6.2]	タクホ	ナデ	10YR8/4浅黄	10YR7/4H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有	
22	427	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	3.1	[4.9]	ハケ目・摩滅	ハケ目	10YR8/2H2.5	10YR8/4浅黄	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有	
22	428	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	2.3	[3.8]	摩滅	ハクホ・ナデ	10YR2/1H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有	
22	429	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	2.9	[4.6]	タクホ・ハケ 目・摩滅	摩滅	2.5YR6/3浅黄	2.5YR8/4浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	430	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	1.9	[3.4]	タクホ・摩滅	ナデ	2.5YR6/3浅黄	2.5YR8/4浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	431	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	3.7	[3.0]	タクホ・摩滅	ナデ	10YR3/1H2.5	10YR8/3浅黄	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	432	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	2.4	[2.8]	ハケ目・ナデ	指押さし・ 摩滅	10YR7/3H2.5	10YR7/3H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有	
22	433	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	1.2	[2.6]	摩滅	摩滅	2.5YR7/3H2.5	2.5YR7/1H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	434	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	4.1	[2.3]	ナデ	摩滅	10YR8/2H2.5	10YR8/2H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	435	谷理工大学	弥生土器	底部	—	—	(3.4)	[1.9]	摩滅	摩滅	2.5YR8/1H2.5	2.5YR8/1H2.5	青 石以下の石英、黄 石を含む	良	表面：黒斑有	
22	436	谷理工大学	小型人 造物	脚部	—	—	[5.6]	ミガキ・ナデ	耐り・ナデ	摩滅	10YR8/4H2.5	10YR5/6H2.5	青 石以下の石英、黄 石・金剛石を含む	良	表面：黒斑有	

第12表 石器観察表

図版 番号	補圖 番号	出土遺様 (整理前)	遺様名/層位	種類	機種	石材	法量(cm)				備考
							最大長	最大幅	最大厚	重量(g)	
21	81		Sd01	石器	剥片	サヌカイト	3.5	3.0	0.8	10.3	

# 写 真 図 版



調査区全景（南西から）

写真図版 2



S001 断面（オルン）画像



SD01 完掘状況（南から）



SD01 完掘状況（西から）



SD01 土器出土状況

写真図版 4



SD02 完掘状況



SD02 断面 (北から)



SD02 断面 (東から)



SD02 (断ち割り)



SD03 完掘状況



SK01 完掘状況



SK02 断面



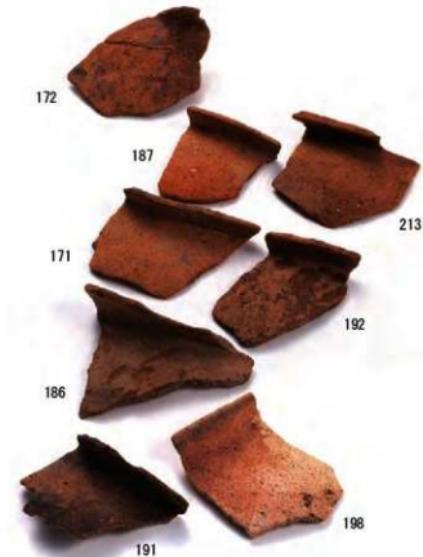
SK03 断面



SD01 出土遺物 1 (壺)



SD01 出土遺物 2 (壺)



SD01 出土遺物 3 (壺)



SD01 出土遺物 4 (壺)



SD01 出土遺物 5 (壺)



SD01 出土遺物 6 (鉢)



SD01 出土遺物 7 (高杯)



SD01 出土遺物 8 (瓶)

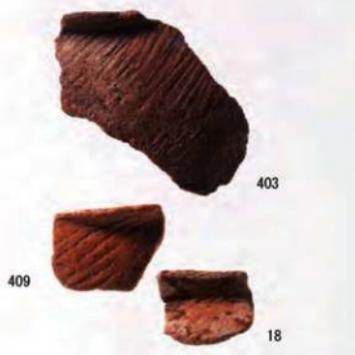


SD01 出土遺物 9 (底部)

SD01 出土遺物 10 (その他)



SD01 出土遺物 11 (壺)



谷地形出土遺物

口縁部外面にタタキ痕が残る壺

## 報告書抄録

ふりがな	みやのうらいせき（だいにじちょうさ）							
書名	宮ノ浦遺跡（第2次調査）							
副書名	三溪放課後児童クラブ新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
卷次								
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第223集							
編著者名	梶原 慎司							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087-839-2660							
発行年月日	西暦2021年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 °'〃	東経 °'〃	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
みやのうらいせき 宮ノ浦遺跡	かわせけん 香川県 たかまつし 高松市 みたにちょう 三谷町	37201	10985	34° 16' 27"	134° 04' 10"	2018.3.9 ～ 2018.3.29	311 m <sup>2</sup>	放課後児童 クラブ新設 工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
宮ノ浦遺跡	集落跡	弥生時代後期後半		溝・土坑	弥生土器			
要約	弥生時代後期後半の溝状遺構4条と土坑を確認した。SD01には多量の土器が含まれており、短期間に埋没したことから、本遺構は高松平野東部における弥生時代後期後半の土器相を表す重要な遺構である。							

三溪放課後児童クラブ新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

### 宮ノ浦遺跡（第2次調査）

令和3年3月31日

編集	高松市教育委員会
発行	高松市番町一丁目8番15号
印刷	高松市教育委員会 有限会社 中央ファイリング